

Bulletin

交通 ● ブリテン

ISSN 1349-9610

2017年
年報号

43

DEPARTMENT OF TRANSPORTATION SYSTEMS ENGINEERING • COLLEGE OF SCIENCE AND TECHNOLOGY • NIHON UNIVERSITY

巻頭言：下辺 悟

定年退職に当たって、 「どん欲のすすめ」

Contents

- 2 巻頭言：下辺 悟
- 3 平成29年度 研究室紹介
- 7 TOPICS 交通システム工学科配置図
- 8 平成28年度
博士論文・修士論文・卒業研究
- 11 平成28年度 教員の研究・活動
(2016.4.1～2017.3.31)
- 11 研究業績
- 21 社会的活動
- 24 学外学術活動
- 26 海外出張
- 28 外部研究資金の受入状況
- 29 受賞
- 29 平成28年度 学生の受賞等
(2016.4.1～2017.3.31)
- 29 教室の動き
- 30 TOPICS 新任教員の紹介
- 31 平成28年度 就職状況
- 32 偲んで
- 32 編集後記



巻頭言 定年退職に当たって、「どん欲のすすめ」

教授 下辺 悟 (2017年3月退職)

昨年の『交通ブリテン』2016年 年報号 No.40で、巻頭言「学窓雑記と研究余滴」と題して学部生・院生（修士／博士課程）時代を振り返り、当時の世の中の出来事を踏まえながら、授業や研究面の視点から回顧録風に雑筆させていただいた。2001（平成13）年4月より、前職の短大土木から母校の本学科に所属替えになり、走馬灯のように16年が経過し、巻頭言の執筆は今回で通算3回目である。今年は定年退職に当たり、65歳を超えた「準高齢者」としての「終活」あるいは「下山」といった心境から、筆を進めたいと思う。したがって、前述した年報号 No.40の後編と思ってもらえばよいと考えている。

前職の短大土木時代（1981（昭和56）年4月～2001（平成13）年3月）は、「研究」よりも「教育」に重みが置かれ、学生の入学・卒業のサイクルが学部の半分なので、非常に短く、あっという間に2年間が過ぎていく。中堅技術者の養成という短大の使命と役割の中、当時の教室主任・伊澤倫一郎教授（故人）の指導の下、教員一丸となって、学生の教育にいそしんできた熱い思いがある。学生に対する“人としての人間教育”への育成ベクトルが一つになって、一体感があった。

このころの研究というと、自分の研究分野とは異なる、同僚の先生方の諸研究（地域計画の指標構築、光波測距儀の信頼性、岩石の衝撃強度および舗装構造の評価）に大きく関わっていた。やっとな昭和から平成に元号が変わる前後に、当時の酒井佐武郎教授（故人）のご厚意により、前職の親学科である土木工学科から毎年卒研1名をいただいた。当時の研究テーマは、“粗粒土の素材特性とその工学的分類”と称する一連の研究の流れで、国内外の著名な学術論文等より膨大な実験データを収集・分析し、それを基に砂や礫のような**粗粒土の工学的分類**を推敲・構築した。これが、後の粗粒土の分類特性に大きく関与する重要な指標である、間隙比の幅 $I_e = e_{max} - e_{min}$ のアイデアにつながった。ここで、 e_{max} ：最大間隙比、 e_{min} ：最小間隙比。両間隙比とも粗粒土が持つ固有の性質（一次性質）で、素材の物性（粒度、粒子形状など）を表す総合的な指標である。その後、当時交通土木工学科の主任であった色部誠教授（故人）の研究室から毎年卒研1名を3年間にわたり、

引き続き、後述する宮森建樹教授あるいは巻内勝彦教授の研究室所属の卒研生を指導させていただく機会を得た。ここでは、砂や礫の内部摩擦角に関連した文献的・実験的研究、および旧土質工学会（現在の地盤工学会）調査部／基準部活動の一環として、“新しい土の物理試験方法”に関する研究（電子レンジ法、フォールコーン法ほか）などに主体となって精力的に携わり、最終的に当該試験方法の学会基準化という成果に結び付けることができた。

2001（平成13）年3月、短大土木創立50年という歴史の幕が閉じられ、同年4月より縁あって当時の社会交通工学科に移り、博士課程修了後に20年ぶりに本学科に戻ってきた。そして、工学（エンジニアリング）系の研究室として、基礎力学研究室がスタートし（この名称は移動前から決まっていた）、授業では基礎力学や構造力学系の講義・演習科目および製図法、土質実験、測量実習を担当した。その当時、巻内勝彦教授（故人）が教室主任で、学部生時代に教をこうた三浦裕二教授（故人）、宮森建樹教授、高田邦道教授がおられた。以降、各種社会的活動（公務・学会活動等）をしながら、粗粒土・細粒土全般にわたる“**土の物性と工学的性質の関係**”に関する実験・解析、国内外の文献からデータ収集と分析をし、今日の豊富な内外データに基づく、各種「土の物性と工学的性質の関係」構築の礎となっている。最後に、これまでの主な研究分野・領域の変遷を概観すると、クラシックな土質力学、地盤工学から比較的新しい「**地盤環境工学（Geoenvironmental Engineering）**」へと移行し、「**ユビキタス・モニタリング地盤環境工学**」の開拓に主眼を置いていた。具体的には、筆者が提案した最新の高精度なセンサー計測に基づく、土 - NAPL（油脂系やTCE等の非水溶液）系の物質移動モニタリング - プロファイリング技法を駆使して、降雨による斜面災害などの**地盤防災・減災**、土壌・地下水（地盤）汚染を対象とした**地盤環境汚染**、下水道管の老朽化に伴う**道路陥没**といった社会的にシリアスな研究が中心だったことを付記する。

本学科の学生・後輩諸君の気概とどん欲さを期して、筆を置くことにする。関係各位に多謝。

平成29年度 研究室紹介

744号室

運輸交通計画 研究室

轟 朝幸 教授

兵頭 知 助手



当研究室では、「活力ある国土・地域づくりのために交通をマネージ」することを目標として研究を進めています。

キーワードは「交通まちづくり」「インターモーダルizm」。交通まちづくりとは、地域の交通施設や交通サービスを改善して、生活や産業活動をサポートし、地域を元気にしようとする概念です。‘まち’は空間的広がりを意味し、国土や地方、都市、街などを包含しています。インターモーダルizmとは、道路や鉄道、バス、空港・航空、港湾・船舶などの陸海空のあらゆる交通手段を有機的につなぎ、時空間的にシームレスな移動を可能にしようとする概念です。



成田国際空港での調査



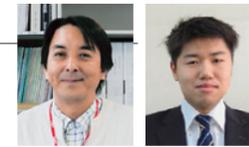
京都への研究室研修旅行

743・B号室

道路交通 研究室

安井一彦 准教授

池田隆博 助教



道路上の安全性と円滑性を高めるための、交通信号制御について研究を行っている、わが国でも数少ない研究室です。3年生は交通工学、土木情報学関連の基礎知識を習得するゼミ、4年生と大学院生は、卒業研究・修士論文を進める一方、各学会での活動や民間・官公庁からのさまざまな共同研究等を行っています。

道路交通研究室では、道路上に起こりうるさまざまな交通問題について研究を行っています。例えば、交通渋滞・事故等の問題については、交差点の現地調査、人物・車両挙動の解析、信号制御等の検討結果を踏まえて、シミュレーションによる検証や実証実験を行い改善に取り組んでいます。また、GNSS（全地球航法衛星システム）や距離画像センサ等の計測機器で得られる人や車両等の位置情報について、より高精



ステアコーンの衝突実験



GNSS測位における実験

インターモーダルizmの確立を目指し、交通まちづくりを実践するための理念、政策、理論、技法などについてフィールド調査や交通分析などを実施しながら研究を進めます。

●卒業研究テーマ

- ・公共交通（航空、鉄道、バスなど）の交通行動分析
- ・交通ビッグデータの解析
- ・ITS施策・マーケティング施策による公共交通活性化分析
- ・空港・港湾計画のための交通分析
- ・パーソナルトランスポートの交通分析
- ・観光交通計画のための交通分析
- ・クルーズ客船の活性化のための利用動向分析
- ・水上空港ネットワークの導入検討
- ・交通安全教育の効果分析
- ・交通事故リスクの分析

●ゼミナール・テーマ

- ・交通分析手法の習得
- ・交通計画分野に関する文献レビュー（英論文含む）
- ・就活に向けた実力アップ（SPI、TOEICなど試験対策）

●卒業研究、ゼミナール着手条件

原則として「交通システム計画」「交通需要予測」を履修すること。TOPを取得すること。

これまでの卒論・修論の概要やゼミ旅行などのイベント、学会発表参加などの研究室活動実績はホームページをご覧ください。(pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp)

卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

度に計測する技術についても研究を行っています。

これからも幅広い視野をもって、道路交通の安全・円滑に向けて、研究に励んでいきます。研究室の詳細については、下記ホームページをご覧ください。

研究室ホームページ：http://roadtra.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/

●卒業研究テーマ

- 主な研究は以下の通りです。
- ・交通規制用保安施設の安全性に関する研究
 - ・わが国と諸外国の運転免許制度と交通事故発生率の関係
 - ・路切での一時停止規制と利用実態に関する研究
 - ・自動車保険データからみる交通事故発生状況に関する研究
 - ・日本と韓国の交通事故発生状況の比較に関する研究
 - ・歩行者優先制御の歩行者の優先度に関する研究
 - ・横断歩道での車両の一時停止順守率に関する研究
 - ・衛星配置における測位特性の分析
 - ・準天頂衛星の併用による都市道路上での位置情報の高精度化
 - ・自動車運転支援のためのGPSによる位置情報の活用
 - ・自動車運転支援のための区画線の更新に関する研究
 - ・画像センサを活用した歩行者支援に関する検討

●ゼミナール・テーマ

交通技術者として「道路交通技術必携」と、「交通信号の手引き」の理解。就職にあたっての基礎知識の修得。

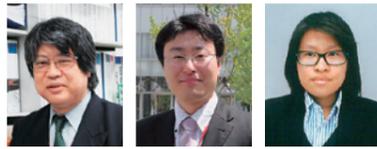
●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通工学に情熱を持っている学生。交通流理論、交通制御、道路工学及び演習を履修または取得している学生。

卒研・ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

交通システム 研究室

福田 敦 教授
石坂 哲宏 准教授
マーライタム サテーター 助手



交通システム研究室では、さまざまな交通問題に対してシステム工学的アプローチから取り組むことを基本としています。問題に応じて数理計画的手法に基づくモデルやシステムの開発を行い、これらを交通問題が深刻な開発途上国の交通状況の解析や交通政策・交通プロジェクトの評価の問題に適用し、実際に問題解決に貢献することを目標としています。

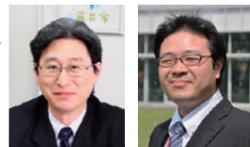
アジアの都市において、地下鉄やBRT (Bus Rapid Transit) などの公共交通の導入、公共交通指向型開発 (TOD) の実施、P&Rによる駐車管理、バイオ燃料の利用などがCO₂排出量の削減にどの程度寄与するかを検証しています。また、走行している車両から走行データを集積するプローブ情報システムやカーナビなどから発信されるBluetoothの信号を取得することで交通状態を推計する手法の開発を行っています。これらの走行データをモデル化してマイクロ交通流シミュレーションモデル (TS)、ドライビングシミュレーター (DS) の開発しており、さまざまな施策の評価に適用しています。



ドライビングシミュレーター

交通環境 研究室

藤井 敬宏 教授
伊東 英幸* 准教授
* 海外派遣のため平成29年度は不在



交通環境研究室では、公共交通や福祉交通、観光交通などの利便性向上に向けた改善策の検討や、環境に配慮した交通インフラ整備の計画や評価、ならびに交通環境の改善に向けた対策などの研究を進めています。

例えば、公共・福祉・観光交通の視点では、コミュニティバスなどの福祉交通の改善計画の検討や、心の交通バリアフリーに関する評価・対策の検討、子育て世帯の交通支援策、伊東市などの観光地の活性化などを研究しています。また環境共生型交通インフラの整備に向けた自然環境や生態系サービスの影響評価や保全方法の検討、野生生物と自動車の交通事故分析、シーニックバイウエイの経済効果の分析、高齢者を対象とした近隣歩行環境の評価手法の構築などに取り組んでいます。



まち歩き点検プレゼンテーション (市原市)

ゼミ合宿 (山梨県)

開発したモデルやシステムの適用は、各国の大学あるいは政府関係機関など共同研究という形で進めています。近年では東北大学、タイのチュラロンコン大学、コンケン大学、インド工科大学ハイデラバード校、オーストリアのウィーン工科大学などと共同で研究を進めています。卒研究生や大学院生がこれらの国へ行き、現地の学生と協力して調査なども行っています。

●卒業研究テーマ (一部)

- ・TODを前提とした地下鉄、BRT導入時のCO₂排出削減量の推計
- ・タイ・バンコク-チェンマイ間高速鉄道導入効果の推計
- ・鉄道駅周辺におけるウォーカービリティの評価
- ・プローブ情報、Bluetooth信号を用いた交通行動モニタリング手法及び交通状態推定手法の開発
- ・TSを用いたITSなどの交通施策の評価
- ・新しい燃料消費量推計モデルの構築

●ゼミナール・テーマ

小グループごとに対象都市を選び、そこでの具体的な交通問題を取り上げて、それを解決するための計画案を作る。計画案作りの過程や現地調査を通じて、現況調査の方法や各種の数理計画的手法・モデルを活用した計画案の分析方法を学習する。報告書を作成し、講評会を行う。

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通問題の解決にかかわる職業に就くことを希望している者。交通需要予測、国際コミュニケーション論、国際開発援助論、多変量解析、情報通信システムを取得、受講すること。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

平成28年度のゼミナールは、卒研究生21名 (卒研修了者を含む)、3年ゼミ生19名の総勢40名が在籍し、毎週行っているゼミナールに加えて、研究室内の卒業研究中間発表会を年2回、山梨県へのゼミ旅行を行いました。

●卒業研究テーマ (一部)

- ・温泉街の宿泊施設共同型送迎バスの導入に向けた分析
- ・都市のコンパクト化が立地適正化計画に及ぼす影響分析
- ・心のバリアフリーの行動マニュアルの運用方法の研究
- ・デマンドタクシーにおける住民協議会の取組みの評価
- ・コミュニティバスと地域商店街との連携に関する研究
- ・地域公共交通総合連携計画の策定に向けた現状評価

●ゼミナール・テーマ (平成28年度実施内容)

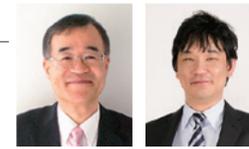
- ① グループディスカッション
 - ・「超高齢化社会における今後の交通技術者の役割とは？」
- ② 社会貢献型学習：
 - ・市原市まち歩き点検 (調査の企画・実施・ファシリテーターとしてのまとめ)
 - ・千葉県バリアフリーネットワーク会議への参加 (国交省)
- ③ 現代時事問題の演習
- ④ 話題提供
 - ・「統計データから国土交通白書を読み解く」、「地球環境問題を踏まえた今後の交通」
 - ・高田先生による特別講義 (2回)

●卒業研究、ゼミナール着手条件

交通環境問題に関心を持ち、ワークショップやフィールド調査に積極的に参加する意欲があること。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

空間情報 研究室

佐田 達典 教授
江守 央 助教



空間情報研究室では、衛星測位システム (GNSS)、地理情報システム、レーザー計測技術をベースに、先端的なセンサを利用して位置や形状を計測・解析・可視化する研究を行い、車両の高精度測位、交通施設整備、移動時の情報提供への応用を目指しています。

衛星測位に関してはGPSの他にロシアのGLONASS、EUのGalileo、中国のBeiDou、また、わが国の準天頂衛星QZSSでは初号機「みちびき」の高精度測位実験を当研究室が民間



車載型MMS



ICT技術を活用したバリアチェック手法の試行の様子

交通計画 研究室

小早川 悟 教授
稲垣 具志 助教



本研究室は、「地区交通計画」と「都市交通管理」を柱として研究を行っています。都市や地区の交通を管理するためには、交通政策や交通規制などのほか、交通需要をコントロールしていくためのマネジメントの考え方も重要です。交通調査等によりデータを収集し、そのデータを解析することで、現状の交通状況を把握し、それをどのように地区の交通計画に落とし込んでいくかを考えていくことに取り組んでいます。具体的には、交通需要をコントロールするために自動車のトリップエンドとしての駐車場の計画をどのように行っていくか、都市における物流や貨物車の問題をどのように解決していくか、自転車や二輪車の利用や走行に関する研究、交通安全対策やシニア社会の交通対策、子ども、高齢者、障がい者といった交通社会における要支援者をサポートする手法の提



信号交差点での自転車発進挙動



小学生の道路横断判断の実験

では最初に実施しました。さらに、車両や台車にGNSSとレーザー計測装置を搭載して道路空間の形状を走行しながら計測するモバイルマッピングシステム (MMS) の研究に取り組んでいます。自動走行のための3次元道路情報や歩道の移動円滑化に向けた歩道のバリア情報の抽出などの応用技術を研究しています。

平成28年度は、大学院生2名、卒研究生15名、ゼミナール生14名の総勢31名が在籍し活動しました。

●卒業研究テーマ (平成28年度)

- ① 準天頂衛星の併用による測位精度向上効果の検証
- ② Galileo、BeiDouの測位特性の検証
- ③ 衛星配置と鉛直方向測位精度の関係分析
- ④ 都心部走行に対応した高精度測位データの位置情報精度検証
- ⑤ MMSを用いた道路縁石部・歩道のバリアの抽出
- ⑥ MMSを用いた街路案内板の視認性評価
- ⑦ 歩道計測型MMSを用いた歩道のバリア抽出
- ⑧ 水上飛行機離着水時の環境情報取得
- ⑨ ICT技術を活用したバリアチェック手法の提案

●ゼミナール・テーマ

GNSS、写真測量の仕組みについて専門書の輪講・計測体験を行います。また、交通調査や交通バリアフリーに関する見学体験会ならびに論文の講読を行い、専門的知識を高めます。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

特にありません。新技術や社会貢献に興味のある方を歓迎します。

卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

案、安全で安心して暮らせるための交通計画などの検討も進めており、さまざまな交通問題を地区としてどのように解決していくかを考えています。また、東日本大震災以降は大規模震災発生時の交通問題や物流問題に関する研究にも取り組んでいます。

平成28年度は、大学院生4名、卒研究生14名、ゼミナール生14名の総勢32名が活動しました。

●卒業研究テーマ

- ・路上駐車を取り締まり方法に関する研究
- ・貨物車の駐車特性に関する研究
- ・端末物流対策に関する研究
- ・災害時の物流対策に関する研究
- ・交差点部における自転車の通行方法に関する研究
- ・ドライブレコーダを用いた自転車のヒヤリハット分析
- ・住宅地における交通安全対策に関する研究
- ・子どもの道路横断判断に関する研究
- ・障がい者の移動支援に関する研究

●ゼミナール・テーマ

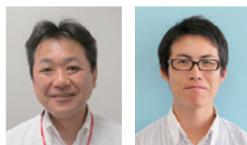
- ・『交通技術必携』の輪読および発表
- ・「これからの交通工学」や「研究活動の進め方」等の講義
- ・交通対策の現場見学会
- ・交通行動データ解析の基礎演習
- ・セミナー、シンポジウム、講習会等の参加

●卒業研究、ゼミナール着手条件

ロジスティクス概論・交通現象解析IIを受講すること。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

道路マネジメント 研究室

下川澄雄 教授
吉岡慶祐 助手



人口減少、少子高齢化社会が直面するなかで、今後ともくらし豊かな生活、効率的な都市機能を維持していくためには、中山間地域から大都市に至るまで、「コンパクト」+「ネットワーク」により、新たな活力の集積を図り、それらが重層的に重なる国土の形成を図る必要があります。

道路マネジメント研究室は、これらを実現すべく、道路を中心とする交通インフラの計画・設計から維持管理に至るプロセスの中で、今日的な課題や社会的な要請を抽出・整理し、新たな制度設計を提案していくことを研究の柱としています。そのため、研究の対象は、①道路ネットワークのあり方、②道路のサービス水準と道路の新たな計画設計論、③車両性能や交通特性と道路の構造との関わりなど、道路の機能・特性に関わる基礎的な研究から施策立案に関する行政的な応用研究といった広い領域を含むものです。

なお、本研究室では、他大学との合同ゼミ合宿をはじめとして外部との交流も盛んに行っています。

●卒業研究テーマ

- 道路の機能・階層を踏まえたサービス水準のあり方に関する研究
- 将来の拠点配置や交通特性を踏まえた道路ネットワークや道路空間の再編に関する研究

- 高速道路渋滞時の交通挙動と交通運用策に関する研究
- ラウンドアバウトの交通特性と道路構造に関する研究
- 性能照査型の道路計画設計論 など

●ゼミナール・テーマ

小グループごとによるフィールドスタディを通じ、道路交通問題とその解決策を実践的に習得することを狙いとしています。また、グループディスカッションを通じ、とりまとめや説明能力の向上を目指します。平成28年度は、今年のNHKの大河ドラマ「おんな城主直虎」の舞台となっている静岡県浜松市井伊谷地区を中心として、予想される多くの来訪者の円滑な移動を可能とする交通運用策について、浜松市からの協力依頼のもと現地調査を踏まえた検討を行い、その成果をレポートとしてまとめました。

●卒業研究・ゼミナール着手条件

道路工学および同演習、交通現象解析Ⅱを履修または履修予定であること。

卒研、ゼミ受入可能コース：両コース受入可能



構造デザイン 研究室

鈴木 圭 教授
齊藤準平 助教



構造デザイン研究室では公共交通を支えるために重要となる交通施設構造物を研究対象として、構造工学や維持管理工学の視点、ならびに構造とデザインを融合した構造デザイン工学の視点から研究を行います。交通インフラの新たな建設、膨大な数の交通インフラの機能維持などに関する諸問題を解決するために、主に工学的材料である『コンクリート』を研究対象として、構造工学や維持管理工学に関するテーマ、構造デザイン工学に関するテーマを設定し研究に取り組みます。本年度より、鈴木教授と齊藤助教の指導体制にて、構造デザイン研究室となります。よろしくお祈いします。

●卒業研究テーマ

- 海外のコンクリート指針 (Euro コード、fib-ACI等) と日本の設計指針の比較に関する研究
- 構造デザインに関する研究
- 災害時に役立つ橋梁構造の研究—津波発生時の身近な非難所、エアブリッジ等—
- 橋梁ガイドマップに関する研究
- 損傷・劣化したRC・PRC構造物の塩分浸透特性評価 (塩分浸透試験・電気泳動試験)
- 非破壊試験によるコンクリート構造物の新たな損傷・劣化度診断

●ゼミナール・テーマ

- ◎「得体の知らないコンクリート」を科学する!
- ◎コンクリート・モルタルを用いた高速カヌーの作製!
- ◎コンクリート・構造に係わる「自由研究 (基礎・応用実験調査etc.)」!
- ◎その他、課外活動 (建設現場見学、交通インフラ等の土木構造物や歴史遺産の訪ね歩き)

●卒業研究ゼミナール着手条件

卒業研究は、コンクリートに関する材料・構造に関する科目 (建設材料Ⅰ、コンクリート構造Ⅰ・Ⅱ、建設材料実験の4科目) を必ず履修 (同時履修可) していること。ゼミナールは特になし。

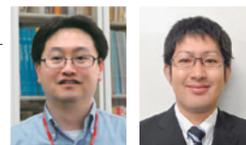
卒業研究、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能



塩化物イオン量の分析 (全自動電位差測定装置)

地盤工学 研究室

峯岸邦夫 教授
山中光一 助教



平成28年度の学生構成は、大学院博士前期課程2年生が2名、同1年生が1名、卒研生 (4年生) が15名、ゼミナール生 (3年生) が13名の合計31名でした。平成29年度は、峯岸教授、山中助教の2名体制で研究・教育を進めていきます。

当研究室では、交通施設 (鉄道、道路、空港、港湾など) に関連する施設) の設計・建設に関わる地盤の力学的問題や新材料・新技術の開発、地盤構造物の維持管理に関わる諸問題について研究を行っています。

卒業研究では、継続研究の交通施設に関連する地盤や地盤材料の力学特性のほかにも、舗装用に強化されたジオシンセティックス (土木用不織布) の耐久性および通水性能、製鋼スラグの有効利用等のほかにも、舗装の構造設計など、舗装に関する研究も行います。



ゼミ合宿で訪れた黒部ダム (平成27年8月・富山県)

毎年、地盤工学会関東支部で開催しているソイルストラクチャーコンテスト (SSC) に参加しています。SSCは、普段、大学や仕事で学んだ知識を生かして社会人や学生が液状化対策のアイデアを競うコンテスト

です。2016年で第11回目になりますが、地盤工学研究室は第1回目より参加し、過去には優勝経験もあります。

その他の活動として、4年生がGeoKanto (地盤工学会関東支部発表会) に参加し、日頃の研究成果の発表を行っています。また、地盤工学を研究する学生や研究者が集まり懇親を深める三上杯バレーボール大会と、関東大学地盤研究室対抗ソフト大会に研究室全員で参加し、他大学の学生や他研究機関の研究者達との情報交換、懇親を深めることができました。

●卒業研究テーマ

- ①混合地盤材料の強度変形特性
- ②強化ジオシンセティックスの耐久性および排水性評価
- ③製鋼スラグの地盤材料としての有効利用
- ④乱された関東ロームの力学特性
- ⑤路床の弾性係数に関する研究
- ⑥土系舗装の性能指標に関する研究

●ゼミナール・テーマ

- ①地盤工学の成り立ち
- ②交通地盤工学 (交通施設の地盤工学) とは?
- ③大地震・集中豪雨等による地盤災害とその対策技術
- ④地盤構造物への新素材・新材料の利用
- ⑤地盤環境技術
- ⑥魅力あるアースデザイン
- ⑦フィールド・トリップ (地盤の観察、現場見学など)

●卒業研究、ゼミナール着手条件

卒業研究は、地盤力学Ⅰ、Ⅱと地盤材料実験を必ず履修 (同時履修可) していること。ゼミナールは特になし。卒研、ゼミ受入可能コース：両教員ともに両コース受入可能

TOPICS 交通システム工学科配置図

4F	交通工学・計画演習室1 745B室	交通工学・計画演習室2 745A室	運輸交通計画研究室 轟教授 兵頭助手 744室 内線5219	道路交通研究室 安井准教授 池田助教 743B室 内線5504	
3F	交通システム研究室 福田教授 石坂准教授 サティター助手 739室 内線5355	交通環境研究室 藤井教授 伊東准教授 738室 内線6476	交通環境演習室 737室	交通システム演習室 735室	
2F	交通システム工学科 事務室 高梨・熊田・伊藤 7214室 内線5239	交通輪講室 7213室	空間情報研究室 佐田教授 江守助教 7212室 内線8147	交通計画研究室 小早川教授 稲垣助教 7211室 内線5242	交通現象解析室 7210室
1F	道路マネジメント研究室 下川教授 吉岡助手 7111室 内線5503	構造デザイン研究室 鈴木教授 齊藤助教 7110室 内線5241	交通施設・社会環境 演習室1 719室	交通施設・社会環境 演習室2 718室	地盤工学研究室 峯岸教授 山中助教 717室 内線5217

- 2号館：舗装・地盤系実験室 (201、202) ……内線5418
- 7号館：コンクリート・構造系実験室 (704) ……内線5236
- 7号館：交通実験室 (704F)

- 社会基盤工学系実験 建設材料系 ……内線5216
- 地盤・舗装材料系 ……内線5584
- 測量実習センター ……内線5322
- お茶の水校舎1階 交通共通研究室 (C101・B室) 03-3259-0976

ダイヤルイン 047-469-(内線番号)

事務室 FAX : 047-469-2581

平成28年度 博士論文・修士論文・卒業研究

博士論文

Development of Method to Estimate Fuel Consumption Reduction Based on Time Sharing of Driving Modes – Case of Promotion of Hybrid Cars in Bangkok –
(走行モードの時間割合に基づく燃料消費削減量推定方法の開発—バンコクにおけるハイブリッドカー普及の例—)
主査：福田 敦教授 SRISAKDA NAPON

修士論文

信号交差点における発進挙動分析による自転車交通流に関する研究
指導：小早川 悟教授、森田緯之客員教授 青山恵里
クルーズ客船観光の初回利用時に着目した認知・検討・利用の態度変容分析
指導：轟 朝幸教授 井口賢人
モバイルマッピングシステムにおける標定点設置に関する研究
指導：佐田達典教授 岡本直樹
転炉スラグ混合土の力学および膨張特性に及ぼすスラグ混入率の影響
指導：峯岸邦夫教授 小高秀登
一般道路において中間速度層を実現するための道路構造条件の提案
指導：下川澄雄教授、森田緯之客員教授 小山田直弥
舗装構造の理論的設計方法における2層構造路床の弾性係数算出位置に関する研究
指導：峯岸邦夫教授 野田遼斗

卒業研究

■ **交通計画研究室** (小早川 悟 教授・稲垣具志 助教) ………
熊本地震における救援物資輸送の実態分析 里見志勇人
GISを用いた小型貨物車集中地区の抽出方法に関する研究 藤原大樹
端末物流活動により発生する交通阻害状況の地域別分析 坂田哲也
違法駐車取り締まり最重点路線における貨物車の路上駐車実態に関する研究 —道路構造に着目して— 小林祐哉
大規模小売店舗の立地が地区内の流入交通量に与える影響分析—千葉県船橋市習志野台8丁目を対象として— 原島優己
信号交差点における自転車の通行位置選択に関する研究 熊谷祐希
単路部における幼児乗せ自転車の走行実態の分析 伊野公裕
ドライブレコーダデータを活用した歩道における自転車の双方向通行に関するヒヤリハット分析 原田憲武
個人の性格を考慮した子どもの道路横断判断特性の把握 明石和樹
子どもの道路横断判断にまつわる保護者の実態認識に関する実験的研究 府川阿佐美
全方位カメラを用いた駅前広場における視覚障害者の移動環境評価に関する研究 高久大幹
生活道路交差点における視覚障害者誘導用突起による車いすの振動特性 石井 航
右折車混在における交通現象からみた単路部の事故分析—千葉県千葉市の坂月町交差点を対象として— 白子勇太

BRTへの端末交通サービス水準を考慮した交通需要推計に関する研究
指導：福田 敦教授、石坂哲宏准教授 畠山晃穂
燃料消費量推計におけるVSPモデルの適用可能性の検討
指導：石坂哲宏准教授、福田 敦教授 福室恵子
D/Hと街路空間の印象評価の関係に関する基礎的研究
指導：天野光一教授 三富翔平
道路状況を考慮した路線バスの遅延時間予測の精緻化
指導：轟 朝幸教授 横関敬裕
ラウンドアバウトの流出車両挙動が流入判断に与える影響分析
指導：下川澄雄教授、森田緯之客員教授 渡瀬貴明
ラオス、ヴェンチャンの都心部における路上駐車マネジメントの影響の評価に関する研究
指導：福田 敦教授、石坂哲宏准教授 ワンタナーカムバン

【 】は共同論文指導
■ **空間情報研究室** (佐田達典 教授・江守 央 助教) ………
衛星測位を用いた波高変動の計測 尾形直希
建物近傍でのGPSによる高精度測位の可能性に関する研究 長南一丸
搬送波位相測位におけるBeiDouとGPSの精度比較に関する研究 雪山大地
GLONASSとBeiDouの併用測位に関する研究 田辺優晴
建物近傍における衛星測位可能範囲の拡大に関する実証実験 大間知賢哉
複数の衛星測位システムを併用した搬送波位相測位に関する研究 齊藤飛雄
衛星電波遮蔽環境下における高精度マルチGNSSによる走行位置精度検証 菊田和雄
低仰角時における準天頂衛星のL6信号の補強機能の有効性に関する実験 田中勇太
距離画像センサを用いた屋内における平面情報取得に関する研究 小林亮太
モバイルマッピングシステムの点群データを用いた交差点の見通し評価に関する研究 池田和弘
モバイルマッピングシステムによる点群データの標高を用いた道路緑石部の抽出に関する研究 大谷建介
MMSを用いた街路樹による案内標識の視認性低下の評価に関する研究 五十嵐由樹

歩道計測型MMSを用いた歩道空間のバリア検出方法に関する研究
加瀬田光平
大田区蒲田周辺における宿泊者が必要とする案内情報に関する研究
佐々木旺輝

Google Earthを用いた当事者参加型バリアチェック手法に関する研究 —文化遺産周辺を対象に— 西澤大雅

■ **道路マネジメント研究室** (下川澄雄 教授)……………
ドライバー特性の違いが高速道路の交通容量に及ぼす影響に関する一考察 永山和樹【森田緯之】
渋滞発生確率を用いた都市間高速道路の付加車線設置効果に関する分析 酒井克典
2車線道路において中間速度層を実現するための道路構造条件等の分析 石川弘祐
一般道路における実現可能な旅行速度と性能曲線導出の試み 斎藤眞生
都市間連絡における一般道路の速度サービスの実態とその特徴 前田晃洋
都市間連絡に影響をもたらす迂回の実態とその特徴 柳沼正雄
横断歩行者を考慮した緩速車線の適用可能性に関する研究 瀧ヶ崎友実
一般道路における大型車の乗用車換算係数に関する一考察 中林 悠

正十字ラウンドアバウトにおける直進車両の走行挙動特性分析 田中雅人
ラウンドアバウトにおける方向指示器の表示実態の観測 山上俊一

バスレーンおよびPTPSの組み合わせによるサービスレベルの比較分析 —静岡県浜松市を対象として— 李野彰俊

自動車が自転車を追い越す際の危険意識を考慮した離隔距離に関する研究 造田卓也

矢羽付車線の設置と自転車、自動車の走行位置に関する分析 今井大輔【森田緯之】

■ **基礎力学研究室** (下辺 悟 教授・齊藤準平 助教) ………
土の含水量計測用プローブの実用性・信頼性に関する基礎的研究 今泉祐希・竹内達也
多孔質体内塩分水溶液の電気伝導度測定に関する基礎的研究 後藤嘉彦・坂本康了

地盤汚染の物質移動におけるNAPL浸透のためのモニタリング - プロファイリングに関する基礎的研究 川名竜太郎・岸 良樹

降雨による交通規制を考慮した大型斜面崩壊実験と無線通信による野外実斜面における水分移動のモニタリング - プロファイリングの評価 小林朋生・水野谷一樹

下水道管の老朽化に伴う道路陥没のモニタリング - プロファイリングに関する基礎的研究 —降雨の影響— 永峯弘一・横山未来

ひび割れを有するRC部材の塩分浸透特性に関する基礎的研究 —貫通ひび割れにおける塩分濃度分布— 加藤広紀

PRC部材の塩分浸透特性に関する基礎的研究 —塩分浸せき試験による検討— 増渕智康

PRC部材の塩分浸透特性に関する基礎的研究 —電気泳動試験による検討— 古都貴大

衝撃弾性波によるコンクリートの損傷度評価に関する基礎的研究 —センサの押しつけ力に関する検討— 立石皓太

■ **運輸交通計画研究室** (轟 朝幸 教授)……………
成田国際空港におけるバードストライクの実態と対策効果の分析 五十嵐大騎
熊本地震における救助・救援活動のための航空機活動実態分析 小笠原拓真

水上飛行機導入の交通手段選択確率の推定 —西日本を対象として— 小宮山春菜

離散型選択モデルを用いた航空機挙動モデルの構築 竹田伊知甫
首都圏空港における発着枠拡大による日本人出国旅客の利用者便益の影響分析 西園知哉

航跡データを用いたバードストライクによる滑走路閉鎖の影響分析 —成田国際空港着陸機を対象として— 山川敬寛

テキストマイニングを用いたクルーズ船利用要因の分析 小松 豪

東京 - 米国東岸間コンテナ輸送における環境負荷を考慮した機関分担率の算出 谷内美晴

アジア欧州間におけるコンテナ荷動き量に寄与する経済指標の時系列影響分析 増田万理乃

モビリティ・マネジメント実施路線選定における指標の提案 —DEA(包絡分析法)を用いて— 上甲兼弘

安全意識変化に着目したスケアード・ストレイト型交通安全教室の教育効果に関する研究 鈴木飛彦

路線特性に着目した交通事故発生リスクの分析 治田陽祐

ICカードデータを用いた公共交通利用者の利用間隔パターンに関する研究 日比野圭祐

■ **交通システム研究室** (福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授) ……
タイ・ムアンコンケンにおけるMARSモデルを用いた政策シナリオの評価 瀧川大樹

東南アジアの3都市(コンケン、ヴィエンチャン、ダナン)における都市コンパクト指標の推計 中川康也

ベトナム・ダナンにおける公共交通指向型開発がBRT導入に与える効果 小林洋貴

サムイ島におけるEV事業の実施可能性の検討 秋山航輔

千葉市における移動コストを基にした鉄道駅周辺への人口および施設の集約に関する研究 中川義朗

八千代市における生産緑地地区指定解除後の土地の利用実態分析 齋藤 陸

Analysis of Car Sharing Usage in the Community Stricken by the Disaster 奥津健太

Study on Walkability around Stations of Urban Railway –Case Study at Three Stations in Bangkok, Thailand – 小澤弘典

ラオス・ヴィエンチャンにおける路上駐車排除による旅行時間への影響分析 小池巧馬

タイ・バンコクにおけるプローブパーソンデータを用いた経路選択行動の特性把握 小池智士

タクシープローブデータによるタイ・バンコクの旅行時間信頼性の算出に関する分析 渡部直樹

タイ・バンコクにおけるGPSの位置情報データを用いた交通手段判別 盛 大我

シミュレーションを用いた路線バスにおける定時性の評価 橋本諒平

ラオス・ヴィエンチャンにおけるBluetooth MACアドレスを用いた旅行時間推定	徳永和貴
WIFI MACアドレスにより推定した交通状態の特性に関する分析	嶋田将輝
Bluetooth MACアドレスによる交通状態推定方法の検証 —実測とマイクロ交通シミュレーションを用いて—	安藤正志
ACC利用時のドライバー反応に関するドライビングシミュレーターを用いた評価	服部義己
VSPモデルのマイクロ交通シミュレーションへの適用	峰岬達也
■ 交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授) ………	
高齢者を対象とした近隣歩行環境評価法 (ANEWS) による評価手法の構築 —習志野台団地を対象として—	青木佑太
集合住宅における高齢者の近隣環境に対する距離の認識と実際の歩行時間とのギャップ分析 —習志野台団地を対象として—	篠塚浩志
冬季のシーニックバイウエイ北海道大雪・富良野ルートにおける観光地来訪者の実態分析	中家智之
トラベルコスト法を用いたシーニックバイウエイの経済効果の推計 —冬季のシーニックバイウエイ北海道の大雪・富良野ルートを例として—	田平将大
リサイクルを考慮した新地盤材料および盛土工法のライフサイクルインパクトアセスメント —大気汚染物質や地球温暖化ガスの排出および土地利用への影響に着目して—	四十物賢人
近年の米国の道路事業における代替案およびミティゲーションプランに関する実態分析	武藤旭哉
福島県の交通インフラ整備に伴う土地利用変化による絶滅危惧種の生息適地の経年評価	富田 拡
生物多様性ポテンシャルマップを活用した都市交通整備に伴う絶滅危惧種への影響評価 —タイ・コンケン市を対象として—	大山大隆
国道44号に建設されたアーチカルバートにおけるエゾシカの利用実態分析	大塚 純
国道44号におけるエゾシカの交通事故発生要因の分析	鷲尾朋紀
伊東温泉における宿泊施設共同型送迎バスの導入に向けた意識分析	木ノ内 慎
東京23区におけるバリアフリーマップの作成・運用状況の分析	滝井晶弘
心のバリアフリーのスパイラルアップに向けた行動マニュアルの運用方法に関する研究 —千葉県市原市の取り組み—	高橋 実
保育園の送迎における移動負担に関する研究 —通園・通勤時の迂回状況に着目して—	小澤知弘
JR成田線新木駅に設置した情報案内板の活用と運用に関する研究	飯村一樹
都市のコンパクト化が立地適正化計画に及ぼす影響分析 —千葉県柏市、市原市を事例として—	藤盛 梓
千葉県の自治体における地域公共交通の事業課題の現状分析 —地域公共交通国土交通大臣表彰団体との比較—	竹村友佑
デマンドタクシーの導入および維持・継続に関した住民協議会の取り組みの評価 —千葉県市原市市津地区を例として—	森口尚武
コミュニティバスの維持・継続に向けた地域商店街との連携に関する研究 —キャッシュバックシステムの八千代台地区への導入検討—	平野 良
我孫子市地域公共交通総合連携計画の策定に向けた現状評価	関谷諒祐
■ 地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 助教) ………	
安定処理における攪拌が関東ロームの物理的特性及び支持力特性に及ぼす影響	岡田貴行
路床弾性係数モデルの材料定数とCBRの関係に関する一考察	櫻井啓汰
歩行者系舗装の各種性能指標の関係性に関する一考察	前田崇丞
路面粗さとBPNの関係に及ぼす凹凸深さの影響	中野優太
竹チップ舗装の性能に及ぼす竹廃材混入率の影響	鈴木涼平
混入材の剛性および形状が混合地盤材料の力学特性に及ぼす影響	野谷直登
面状不織布を混合した粘性土の一軸圧縮特性に及ぼす不織布厚さの影響	瀬川哲熙
関東ロームを用いた短繊維混合補強土の強度特性に及ぼす繊維性能の影響	若島久将・石原一樹
製鋼スラグ混合粘性土の締固めおよびせん断特性に及ぼすスラグ混入率の影響	藤信光生・弓場健史
ジオセル補強地盤の支持力特性および応力低減効果に及ぼす相対密度の影響	宮崎真澄・谷口成樹
湿潤状態における不織布の耐久性に及ぼす目付量の影響	一迫勇貴・岡崎佑亮
■ 道路交通研究室 (安井一彦 准教授・池田隆博 助教) ………	
ステイコーンの安全性に関する研究 —使用性能評価と改良—	木村 誠
千葉県の交通事故多発交差点の分析と改善案に関する研究	小林和司
歩行者の交差点横断挙動と道路交通法の理解に関する研究 —高齢者を対象として—	藤野稜大
交差点における歩行者を対象とした交通情報提供に関する研究	江田直人
わが国と諸外国の運転免許制度と交通事故発生率の関係に関する研究	小川義人
踏切に隣接する道路形状別の車両挙動に関する研究	谷口勝哉
自動車保険データからみる交通事故発生状況の推移に関する研究	白田 陸
日本と韓国における交通事故発生状況の推移に関する研究	小林郁矢
歩行者優先信号制御の二段階横断歩道への適用に関する研究	尾形勇祐
北習志野駅信号交差点における歩車分離式信号制御の導入効果と課題に関する研究	藤井裕紀
無信号横断歩道における車両の一時停止挙動に関する研究	大場長城
日本と韓国における飲酒運転事故抑制対策と事故件数の推移に関する研究	太田洋輔
先進安全自動車技術導入による効果と課題に関する研究 —衝突被害軽減ブレーキと車線逸脱防止装置を対象として—	山口陽平
3次元空間データを活用した歩行空間における障害物の検知に関する研究	平井保輝
複数周波数帯を用いた衛星測位の高精度化に関する研究	佐藤 堯

平成28年度 教員・研究員の研究・活動 2016. 4. 1~2017. 3. 31

研究業績

2016. 4. 1~2017. 3. 31

掲載誌・出版元	題目・作品名・書名	教員名など	発表年月
交通計画研究室 (小早川 悟 教授・稲垣具志 助教)			
■ 著書			
自由国民社	現代用語の基礎知識2017年版「運輸交通」	小早川悟 ほか	高田邦道 17年1月
(公社)日本交通政策研究会 日交研シリーズ A-669	東京都市圏における物資流動のビックデータからみた道路整備効果の分析	小早川悟 稲垣具志 樋口恵一	17年2月
■ 審査論文			
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会論文集	自家用車の送迎を考慮した駅前広場整備に関する研究	西牧翔平 小早川悟	稲垣具志 16年8月
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会論文集	大規模地震時における建物倒壊を考慮した避難所へのアクセス性に関する研究	長谷川究 稲垣具志 長野博一	小早川悟 後岡寿成 16年8月
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会論文集	車両認知状況を考慮した子どもの道路横断判断特性に関する実験的考察	稲垣具志 和田大輔	小早川悟 寺内義典 16年8月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学)(72巻5号) I_985-I_992	子どもの道路横断判断に関する情報提供による保護者の意識への影響分析	稲垣具志 寺内義典	小早川悟 青山恵里 16年12月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (33巻2号) A215-A222	車両認知条件に着目した子どもの道路横断判断特性に関する研究	稲垣具志 寺内義典	小早川悟 和田大輔 17年2月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (33巻2号) A287-A294	大規模地震時における建物倒壊を考慮した避難所へのアクセス性に関する研究	長谷川究 稲垣具志	小早川悟 後岡寿成 17年2月
■ 口頭発表			
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	自転車混合交通における交通容量の評価に関する課題	稲垣具志 森田純之	小早川悟 青山恵里 16年5月
(一社)日本建築学会 北海道支部研究発表会	S市および近郊における障害者の屋内スポーツ施設の利用に関する事例的研究	石橋達勇 永峰麻衣子 井本佐保里 白戸翔大	松田雄二 稲垣具志 玉井直希 16年6月
(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス講演会2016	視覚障害者のための方向定位付きLED発光ブロックの実証実験	永濱秀明 佐藤克也 清山幹弘 池田典弘 荻野 弘	藤澤正一郎 伊藤伸一 稲垣具志 竹内聖人 高橋和哉 16年6月
AHFE2016 International Conference on Human Factors in Transportation	Proof Experiment of LED Block Equipped with Projections to Locate Travel Direction for Blind and Vision Impaired Persons	Hideaki NAGAHAMA, Tomoyuki INAGAKI, Norihito IKEDA, Kazuya TAKAHASHI, Kiyohito TAKEUCHI, Hiroshi OGINO, Katsuya SATO, Shin-ichi ITO, Shoichiro FUJISAWA	16年7月
(一社)日本建築学会 2016年度日本建築学会大会	競技場・スポーツ施設利用時に求められるアクセシビリティに関する研究	松田雄二 石橋達勇 永峰麻衣子 稲垣具志 井本佐保里 竹村健司	16年7月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会	視覚障がい者を対象とした横断歩道口発光ブロックの受容性の評価	田端大誉 稲垣具志 池田典弘 竹内聖人 高橋和哉	藤澤正一郎 伊藤伸一 稲垣具志 荻野 弘 16年8月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	高校生が担い手となる自転車立哨活動の効果に関する考察	山下浩一朗 稲垣具志 福島恵一	寺内義典 橋 たか 16年9月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	周辺路外駐車施設を考慮した時間制限駐車区間の路上駐車実態の分析	小杉拓也 稲垣具志	小早川悟 16年11月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	信号交差点における自転車の発進挙動に対する縦断勾配の影響分析	青山恵里 稲垣具志 佐田達典	小早川悟 森田純之 岡本直樹 16年11月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	単路部における押ボタン式信号機の利用実態に基づく交通制御方式の比較評価に関する研究	細島豪人 稲垣具志	安井一彦 16年11月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

内閣官房ウェブサイト 国土強靱化 民間の取組事例集	視覚障がい者向けの「ことばの道案内」周囲の声	稲垣具志	16年5月
読売新聞 千葉版	生活道路改良へ 4者連携	小早川悟	16年6月
東京都市圏交通計画協議会 東京としげん 交通だより Vol.30	東京都市圏交通計画協議会 第10回シンポジウム～物流とこれからの都市づくり～	小早川悟	16年7月
不動産研究 (358巻3号) pp.3-11	都心部における駐車場の整備実態と附置義務駐車施設緩和の動向	小早川悟	16年7月
東京急行電鉄株式会社 とくらく	セグウェイで新しい交通安全を考える VOL.2 キーパーソンに聞く、「セグウェイ×交通安全」がよく分かる3つの話	稲垣具志	16年8月
時事通信社 時事ドットコムニュース PR TIMES	全国初 民間主体の規制緩和「セグウェイツアー in 二子玉川」	稲垣具志	16年8月
乗りものニュース	「セグウェイ」都内初の公道走行へ 目的は「交通マナー向上」、 どうやって？	稲垣具志	16年8月
読売新聞 首都圏版 朝刊 / YOMIURI ONLINE	バイクとともに創る、ひとの住みやすい街づくり	稲垣具志	16年8月
東京急行電鉄株式会社 とくらく	セグウェイで新しい交通安全を考える VOL.3 セグウェイと交通安全のつながりを、街の人に広く知ってもら うための活動レポート	稲垣具志	16年9月
(公社)日本交通政策研究会 自動車交通研究 環境と政策 2016 pp.30-31	東京都市圏におけるビッグデータからみた中小型貨物車の流動 分析	小早川悟 稲垣具志	16年10月
(公財)国際交通安全学会 IATSS Review (341巻2号) pp.136-144	信号交差点における自動車の交通容量へ及ぼす自転車の影響に 関する基礎的分析	稲垣具志 小早川悟 熊谷祐希 青山恵里	16年10月
日本テレビ 所さんの目がテン！	科学者たちが迫る！ 多摩川ミステリージャーニー	稲垣具志	16年10月
TBS ひるおび	高齢者事故と自動運転	小早川悟	16年11月
埼玉新聞 朝刊	「3ない運動」見直しか 県立高生のバイク使用是非巡り議論 開始	稲垣具志	16年12月
産経デジタル iRONNA	高齢ドライバー対策は限界？	小早川悟	17年1月
産経新聞 / 産経ニュース	「3ない運動」見直しへ検討委、新年度も議論継続	稲垣具志	17年1月
日本教育新聞	高校生のバイク「3ない運動」見直し 埼玉県教委初会合 制限 廃止含め検討	稲垣具志	17年1月
二輪車新聞	埼玉県教育委員会 3ない運動 見直しへ 検討委設置	稲垣具志	17年1月
ベタータイムス 第38巻 第2号	埼玉県「三ない」から脱皮へ…衆知集めて再検討の時	稲垣具志	17年1月
東京都市圏交通計画協議会 東京としげん 交通だより Vol.31	端末物流に配慮したまちづくり	小早川悟	17年3月
船橋よみうり No.1135	「ゾーン30、早期設置を」習志野台8丁目事故防止への取り組み	小早川悟	17年3月

空間情報研究室 (佐田達典 教授・江守 央 助教)

■著書

コロナ社	土木計画学ハンドブック (II編15.2)	佐田達典 (共著)	17年3月
------	-----------------------	-----------	-------

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.23-32	測位に使用する衛星の配置と鉛直方向精度に関する研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央 池田隆博	16年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.23-32	モバイルマッピングシステムを用いた街路での案内標識の視認 性評価	松本直樹 佐田達典 江守 央	16年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.33-41	モバイルマッピングシステムの走行速度と評定点の配置による 補正効果の検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	16年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.15-22	歩道計測型MMSを用いた歩道空間の平坦性評価に関する研究	江守 央 佐田達典 岡本直樹 長野貴文	16年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.55-66	複数衛星系における信号強度と搬送波位相変化量を用いたマル チパス検知手法に関する研究	池田隆博 佐田達典	16年7月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (土木情報学) (72巻2号)	モバイルマッピングシステムの標定点による補正効果と走行速 度との関係に関する検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	17年3月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (土木情報学) (72巻2号)	歩道計測型MMSを用いた歩道空間のバリア評価手法	江守 央 佐田達典 岡本直樹 岩上弘明	17年3月

■口頭発表

(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	測位に使用する衛星位置と鉛直方向精度に関する実証的研究	酒井昂紀 佐田達典 江守 央 池田隆博	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	土木分野におけるセンサ技術の利用と可能性 (3)	佐田達典	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	モバイルマッピングシステムの走行速度と標定点における補正 効果の検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	歩道計測型MMSを用いた点字ブロックの抽出	江守 央 佐田達典	16年9月
(公社)土木学会 第41回土木情報学シンポジウム	モバイルマッピングシステムの走行速度の違いによる標定点を 用いた補正効果の検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	16年9月
(公社)土木学会 第41回土木情報学シンポジウム	手押し台車型MMSを用いた歩道空間の凹凸評価	江守 央 佐田達典 岡本直樹	16年9月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	信号交差点における自転車の発進挙動に対する縦断勾配の影響 分析	青山恵里 小早川悟 稲垣具志 森田緯之 佐田達典 岡本直樹	16年11月
第60回日本大学理工学部学術講演会	建物近傍の衛星測位可能範囲の実証実験	大間知賢哉 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	文化遺産周辺におけるバリアチェックに関する研究 —京都府宇治市の文化遺産を対象に—	西澤大雅 江守 央 佐田達典	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	モバイルマッピングシステムの走行速度と補正間隔についての 検証	岡本直樹 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	搬送波位相測位における BeiDou と GPS の精度比較に関する研究	雪山大地 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	複数の衛星系を併用した測位に関する研究	齊藤飛雄 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	GLONASS と BeiDou の併用測位に関する研究	田辺優晴 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	衛星電波遮断環境下での測位可能性に関する研究	長南一丸 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	自動運転に向けた衛星電波遮断環境下における高精度マルチ GNSSによる走行位置精度検証	菊田和雄 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	高仰角に位置する QZSS 衛星と GPS 衛星による楕円体高精度の 比較	酒井昂紀 佐田達典 江守 央	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	衛星測位を用いた波高変動の計測	尾形直希 江守 央 佐田達典	16年12月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

(一社)日本鋼構造協会 JSSC (25号) pp.44-47	ICTを活用した社会インフラのモニタリング技術の応用と動向 その1 社会インフラにおける「モニタリング・センサ技術」の 標準化の必要性	佐田達典	16年4月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 福祉のまちづくり研究2016 vol.18 NO.2 pp.43-45	福祉のまちづくり×デザイン	江守 央	16年7月
(一財)日本建設情報総合センター JACIC 情報 (31巻2号) pp.5-9	GNSSの衛星観測と高精度測位の現状 —実際の観測・測位事例の紹介—	佐田達典	17年1月
(公社)土木学会 土木学会誌 Vol.102 No.2 p.46	書評：私の本棚「天地明察」	佐田達典	17年2月

道路マネジメント研究室 (下川澄雄 教授・吉岡慶祐 助手)

■著書

丸善出版	ラウンドアバウトマニュアル	(一社)交通工学研究会 (吉岡慶祐 ほか)	16年4月
------	---------------	--------------------------	-------

■審査論文

(一社)交通工学研究会 交通工学論文集 (33巻2号) A_53-A_59	都市内多車線道路における緩速車線を用いた交通運用策の提案 と評価	吉岡慶祐 下川澄雄 森田緯之 茂木翔平 土屋克貴	17年2月
---	-------------------------------------	--------------------------------	-------

■口頭発表

(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	プローブデータによる車両移動経路からみた道路の階層性の評価	浜岡秀勝 楊 柳 内海泰輔 下川澄雄	16年5月
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	平地部において中間速度層を実現するための道路構造に関する 研究	小山田直弥 下川澄雄 吉岡慶祐 森田緯之 瀬戸暢浩	16年5月

(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	わが国の都市間旅行時間に関する実態分析	野平 勝 吉岡慶祐	下川澄雄 福井哲平	16年5月
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	ラウンドアバウトの交通容量推定式の海外比較からみる我が国での検討課題	渡瀬貴明 吉岡慶祐	下川澄雄 森田緯之	16年5月
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	UAVを用いたラウンドアバウトの車両挙動調査	吉岡慶祐 下川澄雄 阿部義典	中村英樹 森田緯之	16年5月
(一社)日本写真測量学会 平成28年度年次学術講演会	UAVを用いたラウンドアバウトの車両挙動の観測	吉岡慶祐 下川澄雄 阿部義典	中村英樹 森田緯之	16年5月
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会	都市内多車線道路における緩速車線を用いた交通運用策の提案と評価	吉岡慶祐 森田緯之 土屋克貴	下川澄雄 茂木翔平	16年8月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	正十字ラウンドアバウトにおける直進車両の走行軌跡に関する分析	吉岡慶祐 下川澄雄 阿部義典	中村英樹 森田緯之	16年11月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	一般道路において中間速度層を実現するための道路構造条件等に関する研究	小山田直弥 吉岡慶祐	下川澄雄 森田緯之	16年11月
第60回日本大学理工学部学術講演会	2車線道路において中間速度層を実現するための道路構造条件の分析	石川弘祐 吉岡慶祐	下川澄雄 小山田直弥	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	ドライバー特性の違いによる高速道路の渋滞現象への影響に関する一考察	永山和樹 吉岡慶祐	下川澄雄 森田緯之	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	大型車の乗用車換算係数に関する一考察	中林 悠 吉岡慶祐	下川澄雄	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	矢羽根付車線の設置と自転車、自動車の走行特性に関する分析	今井大輔 吉岡慶祐	下川澄雄 森田緯之	16年12月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	矢羽根付車線の設置と自転車、自動車の走行位置に関する分析	今井大輔 森田緯之	下川澄雄 吉岡慶祐	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	ドライバー特性の違いによる高速道路の渋滞現象への影響に関する一考察	永山和樹 森田緯之	下川澄雄 吉岡慶祐	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	一般道路における大型車の乗用車換算係数に関する一考察	中林 悠 吉岡慶祐	下川澄雄	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	一般道路における実現可能な旅行速度と性能曲線導出の試み	齋藤眞生 吉岡慶祐	下川澄雄	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	正十字ラウンドアバウトにおける直進車両の挙動特性分析	小久保智朗 下川澄雄	吉岡慶祐 田中雅人	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	通行機能が期待される道路における新たな交通運用策の提案とその可能性	茂木翔平 森田緯之	下川澄雄 吉岡慶祐	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	都市間連絡における一般道路の速度サービスの実態とその特徴	齊藤浅里 吉岡慶祐	下川澄雄 前田晃洋	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	ラウンドアバウトの流出車両挙動が流入判断に与える影響分析	渡瀬貴明 吉岡慶祐	下川澄雄 森田緯之	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	2車線道路において中間速度層を実現するための道路構造条件の分析	小山田直弥 森田緯之 石川弘祐	下川澄雄 吉岡慶祐	17年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）				
Fm Harow	はるかのスムージー café		下川澄雄	16年4月
日刊建設工業新聞	地域活性化に舟運活かす		下川澄雄	16年8月
(一社)交通工学研究会 交通工学 Vol.51 No.4 pp.48-56	道路を評価する 第2回 道路計画・設計における性能照査		下川澄雄	16年10月
基礎力学研究室（下辺 悟 教授・齊藤準平 助教）				
■審査論文				
(公社)コンクリート工学会 コンクリート工学年次論文集 pp.933-938	ひび割れを有するコンクリートの塩分浸透に及ぼすひび割れと圧縮応力の複合的な影響に関する実験的検討	齊藤準平	下辺 悟	16年7月
(公社)プレストレストコンクリート工学会 第25回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集 pp.187-192	塩分浸せき試験を用いたPRCはりのひび割れ領域部の塩分浸透に関する検討	齊藤準平	下辺 悟	16年10月
(公社)地盤工学会 Kansai Geo-Symposium 2016 —地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—論文集 pp.67-72	大型土壌カラム試験を用いた土・NAPL系の物質移動特性	下辺 悟	齊藤準平	16年11月

■口頭発表					
(公社)地盤工学会 第51回地盤工学研究発表会	土の誘電率混合モデルにおけるキャリブレーション定数の特性と評価		下辺 悟	齊藤準平	16年9月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	多孔質体内塩分水溶液の電気伝導度測定に関する基礎的研究		下辺 悟	齊藤準平 坂本康了	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	下水道管の老朽化に伴う道路陥没のモニタリング - プロファイリングに関する基礎的研究		下辺 悟	齊藤準平 横山未来	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	電気泳動法を用いたPRCはりのひび割れと圧縮応力付与による塩分浸透への複合的影響		古都貴大	齊藤準平 増淵智康	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	衝撃弾性波によるコンクリートの損傷度評価に関する基礎的研究—センサの押しつけ力に関する検討—		立石皓太	齊藤準平 加藤広紀	17年3月
■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）					
日本テレビ NEWSおは目線/Oha!4 NEWS LIVE	地下工事の安全対策とは？		下辺 悟		16年11月
フジテレビ 新報道2001	博多・道路陥没事故 “日本の地下”は安全か？		下辺 悟		16年11月
NHK総合テレビ クローズアップ現代+	都市陥没～広がる地下クライシス～		下辺 悟		16年11-12月
毎日新聞	クローズアップ2016：博多駅前陥没、広がる被害 都市に潜む危険		下辺 悟		16年11月
The Japan Times	Fukuoka sinkhole devours city street		下辺 悟		16年11月
日本経済新聞社	博多の大規模陥没 地下開発、都市部にリスク 社説「都市の地下リスクに備えを」		下辺 悟		16年11月
産経新聞／産経ニュース／産経WEST	【博多駅前陥没】陥没…「どこでも起こりうる」 インフラ老朽化、相次ぐ事故		下辺 悟		16年11月
スポーツ報知	水道管のインフラは劣化傾向 専門家は「各地で道路陥没は起き続ける」と指摘		下辺 悟		16年11月
熊本日日新聞	社説「博多の道路陥没 地下利用の検証と対策を」		下辺 悟		16年11月
スポニチ dmenu ニュース	道路陥没 博多駅前大混乱！ 識者「日本各地で起こり得る」		下辺 悟		16年11月
夕刊フジ	博多だけじゃない！ 東京も陥没危機 都市部では1キロあたり2カ所に“キケン”空洞が		下辺 悟		16年11月
ヤフコメ	【道路陥没】水道管のインフラは劣化傾向 専門家は「各地で道路陥没は起き続ける」と指摘		下辺 悟		16年11月
信濃毎日新聞	博多道路陥没事故 2年前の事故 原因究明至らぬまま—この国を考える		下辺 悟		16年11月
プログ・ニュース	博多だけじゃない！ 東京も陥没危機		下辺 悟		16年11月
ライブドアプログ ニュース全般	中国とおなじやな		下辺 悟		16年11月
運輸交通計画研究室（轟 朝幸 教授・兵頭 知 助手）					
■審査論文					
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集（特集号A）（第2巻4号） A25-A32	混雑車両への課金によるホーム上の混雑緩和効果		川崎智也	安倍智紀 西内裕品 轟 朝幸	16年4月
2016 International Symposium of Transport Simulation	An analysis of the impact of driving time on the driver's behavior using probe car data		Satoshi Hyodo, Tohio Yoshii, Matshushita Satoshi, Shirayanagi Hirotschi		16年7月
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会論文集	交通流状態に着目した日仏高速道路における事故発生リスクの比較分析		兵頭 知	吉井稔雄	16年8月
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会論文集	サグ認知における注意の解放効果		白柳洋俊	吉井稔雄 兵頭 知	16年8月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学)(72巻5号) pp.1293-1299	一般国道における事故リスク原単位の検討		兵頭 知	吉井稔雄 倉内慎也	16年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学)(72巻5号) pp.1283-1291	センサ道路における時間帯交通量別交通事故リスク分析		兵頭 知	吉井稔雄	16年12月
(公社)土木学会 土木学会論文集D3(土木計画学)(72巻5号) I_1177-I_1185	中学生を対象としたスケアード・ストレイトの自転車交通安全教室が安全意識に与える影響に関する一考察		西内裕品	川崎智也 轟 朝幸 牧野悠輔	16年12月
(一社)交通工学研究会 交通工学論文集（3巻2号） A_109-A_115	サグ認知における注意の解放効果分析		白柳洋俊	吉井稔雄 兵頭 知 渡邊駿一	17年2月

(一社)交通工学研究会 交通工学論文集(特集号A)(第3巻2号) A202-A207	ニューラルネットワークを用いた路線バスの遅延時間予測	轟 朝幸 川崎智也 野村大智 横関敬裕	17年2月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	日本発着アジア近海航路を対象としたクルーズツアーの潜在的 需要分析	川崎智也 小更涼太 轟 朝幸 井口賢人	16年5月
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	連続運転時間が運転挙動に与える影響分析	松下聖史 兵頭 知 吉井稔雄 大宮清英	16年5月
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	沿道状況に着目した主要道路における事故リスク分析	兵頭 知 吉井稔雄 柴崎宏武 白柳洋俊	16年5月
International Association of Maritime Economics (IAME) 2016 Conference	Preferences of the Potential Cruise Ship Users in Japan	Kawasaki,T, Todoroki,T, Komatsu,G.	16年8月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	離散選択モデルを用いたセグウェイ挙動モデルの構築に関する 一考察	西内裕晶 川崎智也 轟 朝幸 金田志優	16年9月
(一社)交通工学研究会 第36回交通工学研究発表会	ニューラルネットワークを用いた路線バスの遅延時間予測	轟 朝幸 川崎智也 野村大智 横関敬裕	16年9月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	中学生への自転車交通安全教室実施後の振り返りが安全意識に 与える影響に関する基礎分析	西内裕晶 川崎智也 轟 朝幸 飯干 恒	16年11月
第60回日本大学理工学部学術講演会	アクセス利便性と出国利便性を考慮した空港選択モデルの構築 —羽田空港・成田空港を対象として—	西園知哉 轟 朝幸 兵頭 知	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	水上飛行機導入の交通手段選択確率の推定 —西日本を対象として—	小宮山春菜 轟 朝幸 兵頭 知	16年12月
平成28年度日本大学学部連携研究シンポジ ウム「N.レスキュー」～日本大学の総合力 は松花堂弁当の如く～	海外事例に学ぶ水上空港の整備 —水上空港ネットワーク構想の実現に向けて—	轟 朝幸 居駒知樹 江守 央	17年1月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	クルーズ客船観光の初回利用時に着目した認知・検討・利用の 態度変容分析	井口賢人 川崎智也 轟 朝幸 兵頭 知	17年3月
■その他(報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)			
航政研シリーズ No.602	水上飛行機を活用した航空輸送 ～地方創生からの期待～	轟 朝幸	16年6月
日本経済新聞	水陸両用機で村上海賊気分 瀬戸内観光の起爆剤に (記事内にコメント掲載)	轟 朝幸	16年10月
共同通信社(配信) 山形新聞、信濃毎日新聞、中国新聞ほか	注目集める水上飛行機 空港ネットワーク研究 (記事内にコメント掲載)	轟 朝幸	16年10月
共同通信社(配信) The Japan Times	Seaplanes touted as tourism lifeline in regional Japan (記事内にコメント掲載)	Tomoyuki Todoroki	16年10月
ウォーターアンドライフ社 Water & Life No.611	水上飛行機、半世紀ぶりに復活 (記事内にコメント掲載)	轟 朝幸	17年2月
KANSAI 空港レビュー No.460	水上飛行機による高速交通イノベーション	轟 朝幸	17年3月
交通システム研究室(福田 敦 教授・石坂哲宏 准教授・マーライタム サティター 助手)			
■著書			
コロナ社	土木計画学ハンドブック (II編 15.2)	石坂哲宏(共著)	17年3月
■審査論文			
Proceeding of 14th World Conference on Transport Research - WCTR 2016 Shanghai	Impact of BRT on CO ₂ Emission Reduction at Middle-sized Cities in Asia	Atsushi FUKUDA, Alexis M. FILLONE, Tetsuhiro ISHIZAKA, Thaned SATIENNAM, Tuenjai FUKUDA, Sathita MALAITHAM, Hiroki KIKUCHI, Solaxin PHOMMACHANH, Akiho HATAKEYAMA, Tetsuji MASUJIMA	16年7月
Proceeding of 14th World Conference on Transport Research - WCTR 2016 Shanghai	Evaluation for Impacts of Introducing the Roadmap to Realize Low Carbon Society by Using Transportation and Land Use Model: A Case Study of Niigata, Japan	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	16年7月
Proceeding of 14th World Conference on Transport Research - WCTR 2016 Shanghai	Dynamic Multiplier of Transportation Improvement Benefit Using Dynamic SCGE Model, World Conference on Transport Research	Yohei HIGASHIYAMA, Hisayoshi MORISUGI, Atsushi FUKUDA, Shinichi MUTO	16年7月
Proceeding of 14th World Conference on Transport Research - WCTR 2016 Shanghai	Comparison between Assessed Land Value and Actual Land Value in Hedonic Price Model: A Case Study in Bangkok Metropolitan Area	Sathita MALAITHAM, Atsushi FUKUDA, Varameth VICHENSAN, Vasinee WASUNTARASOOK	16年7月

Proceeding of 14th World Conference on Transport Research - WCTR 2016 Shanghai	Parking Management Policies Based on Behavior Analysis at Fatih District in Istanbul, Turkey	Basit DOGRU, Sathita MALAITHAM, Makoto OKAMURA, Atsushi FUKUDA, Tuenjai FUKUDA	16年7月
The 7th Civil Engineering Conference in the Asian Regions (CECAR7)	CO ₂ Emission Reduction Impacts by Promoting Hybrid Cars Based on Time Sharing of Driving Modes from Probe Vehicles	Napon SRISAKUDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	16年8月
Proceeding of the 23th World Congress on Intelligent Transport System	Time Sharing of Driving Modes Based on Probe Data for Studying Fuel Consumption on Reduction by Introducing Hybrid Vehicles	Napon SRISAKUDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	16年10月
Proceeding of 2nd Asia-Pacific Region System Dynamics Conference of the System Dynamics Society	Possibility to Realize a Smart Island Based on Renewable Energy and Electric Vehicles	Hiroki KIKUCHI, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	17年2月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	Impacts of CO ₂ Emission Reduction by Introducing Hybrid Cars in a Developing City Based on Probe Information and Mobile Fuel Consumption Measurement	Napon SRISAKUDA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	16年5月
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	アクセス交通手段のサービス水準を考慮した低炭素交通システ ムの導入効果の推計	畠山晃穂 福田 敦 石坂哲宏 マーライタム・サティター 増島哲二	16年5月
International Seminar on Transportation in Developing Countries	Analysis of On-street Parking Behavior in Downtown Vientiane, Laos	Khamphanh VANTHANA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	16年6月
(公社)土木学会 第71回全国大会年次学術講演会	Study on Estimation of Travel Speed Using Probe Vehicle System and V2V —Verification Based on Traffic Microsimulation Model—	Tatsuya AOYAGI, Tetsuhiro ISHIZAKA, Atsushi FUKUDA	16年9月
(公社)土木学会 第71回全国大会年次学術講演会	動学SCGEモデルによる圏央道整備の地域帰着便益時系列の試算	東山洋平 藤崎洗平 森杉壽芳 福田 敦 武藤慎一	16年9月
The 18th International Summer Symposium, JSCE	Applying the Extended Theory of Planned Behaviour to predict intention of using Bus Rapid Transit (BRT) between Thai and Japanese Travelers	Rattanaporn KAEWKLUENGLKOM, Wichuda SATIENNAM, Sittha JAENSIRISAK, Thaned SATIENNAM, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	16年9月
(公社)自動車技術会 2016年秋季大会	燃料消費量推計のためのVSPモデルの構築	福室恵子 石坂哲宏 福田敦	16年10月
Proceeding of the 23th World Congress on Intelligent Transport Systems	Travel/Activity Survey by Mobile device and app	Tetsuhiro ISHIZAKA	16年10月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	交通費用を内生化したSCGEモデルによる交通政策評価	武藤慎一 河野達仁 福田 敦 東山洋平	16年11月
第60回日本大学理工学部学術講演会	タイ・コンケン大学内のラウンドアバウトにおける自動二輪車 の運転挙動調査 —ビデオカメラを用いた注視挙動に着目して—	関根泰希 矢作将平 中島 翔 蜂谷恭平 福田 敦 石坂哲宏 マーライタム・サティター 菊池浩紀 青柳達也 奥津健太	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	渋滞解消に向けたソンの現状把握とサービス水準の分析 タイ・コンケン市を対象として	西田慎太郎 積田典泰 ポーカムディー・ボンテーブ 福島和輝 宮口友谷 飯沼 巧 土井悠輔 御代川岳 杉山 海 福田 敦 石坂哲宏 マーライタム・サティター	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	コンケン大学内の3方向ラウンドアバウトの速度調査	関根泰希 矢作将平 中島 翔 蜂谷恭平 福田 敦 石坂哲宏 マーライタム・サティター 菊池浩紀 青柳達也 奥津健太	16年12月
第60回日本大学理工学部学術講演会	渋滞解消に向けたソンの現状把握とサービス水準の分析	西田慎太郎 積田典泰 ポーカムディー・ボンテーブ 福島和輝 宮口友谷 飯沼 巧 土井悠輔 御代川岳 杉山 海 福田 敦 石坂哲宏 サティター マーライタム	16年12月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	Evaluation on Impact of Bottleneck Caused by On-street Parking in Downtown of Vientiane, Laos	Khamphanh VANTHANA 福田 敦 石坂哲宏	17年3月

(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	Study on Evaluation of Impact of Bottleneck caused by On-street Parking in Downtown of Vientiane, Laos	Khamphanh VANTHANA, Atsushi FUKUDA, Tetsuhiro ISHIZAKA	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	被災地におけるコミュニティカーシェアリングの利用実態分析	奥津健太 吉澤武彦 福田 敦	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	サムイ島におけるEV事業の実施可能性の検討	秋山航輔 福田 敦 白川泰樹	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	タイ・バンコク首都圏の市鉄道駅周辺ウォークアビリティに関する研究	小澤弘典 マーライタム・サティター 福田 敦	17年3月
交通環境研究室 (藤井敬宏 教授・伊東英幸 准教授)			
■審査論文			
Proceedings of the 36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment (Online Proceedings)	Assessment by Land Use Change using SI models in Khon Kaen, Thailand	Hideyuki ITO, Sho KO, Keiji WATANABE, Takahiro FUJII, Kiichiro HAYASHI	16年4月
Proceedings of the 36th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment (Online Proceedings)	Evaluation for regional-scale ecosystem services	M. Ooba, K. Hayashi, H. Ito	16年4月
Proceedings of 6th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment pp.629-634	Comparative Analysis of New Ground Material and Embankment Construction Methods in Consideration of Recycling by LCA	Hideyuki Ito, Koichi Yamanaka, Hideo Noguchi, Takahiro Fujii, Kunio Minegishi	16年11月
(公社)土木学会 土木学会論文誌D3(土木計画学)(72巻5号) I_1029-I_1036	子ども連れ世帯の保育送迎時に着目した移動負担要因に関する研究	明渡隆浩 長野博一 庄子美優紀 伊東英幸 藤井敬宏	16年12月
The 6th International Conference for Universal Design in Nagoya 2016 PP-014	Study on Consensus Building Processes by Proposal of Short-Term Maintenance Program for Crowded Urban Areas - Improvement Evaluation by Disaster Prevention and UD	Hirokazu NAGANO, Takahiro FUJII, Mime HASHIMOTO	16年12月
■口頭発表			
(公社)土木学会 第53回土木計画学研究発表会	子ども連れ世帯バリア要因に基づく移動負担に関する研究	明渡隆浩 長野博一 庄子美優紀 伊東英幸 藤井敬宏	16年5月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会	子ども連れ世帯の保育送迎時に着目した移動負担状況に関する研究	明渡隆浩 長野博一 庄子美優紀 伊東英幸 藤井敬宏	16年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会	心のバリアフリー行動マニュアルに基づく「気づき」の実践的な取り組み評価に関する研究 —千葉県市原市の取り組み—	藤井敬宏 星野義行 若菜一繁 飯島瑞樹 伊東英幸	16年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会	要介護者の移動確保を図るための介護タクシーの運用方法に関する研究 —千葉県を例として—	藤澤大貴 藤井敬宏 伊東英幸	16年8月
(一社)日本福祉のまちづくり学会 第19回全国大会	特別支援学校の修学旅行における課題抽出 —教員の意識調査に基づく分析—	田中絵里子 藤井敬宏	16年8月
5th International EcoSummit	Spatial and socio-economic evaluation of ecosystem services at regional-scale in Japan: Considering effects of biomass energy production	M. Ooba, M. Fujii, J. Khew, K. Hayashi, H. Ito	16年8月
環境アセスメント学会 第15回大会	国道44号を対象としたエゾシカの交通事故対策に関する研究	大塚 純 伊東英幸 藤井敬宏	16年9月
日本環境共生学会 第19回学術大会	エコツーリズムの国際基準 (GSTC) に基づく豪州とわが国のエコツアーの比較研究	伊東英幸 仲山志弥 藤井敬宏	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	千葉県の土地利用変化に伴う絶滅危惧種の生息適地の分析	伊東英幸 早川晃司 大場 真 藤井敬宏	16年9月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	地域公共交通の推進体制評価に関する基礎的研究 —千葉県の市町村を事例として—	樋口 恵 藤井敬宏	16年11月
第60回日本大学理工学部学術講演会	交通まちづくり工房で開発したバス情報案内板による外国人観光客への情報提供に関する分析 —静岡県富士宮市定期観光バス「強力くん」を対象として—	小澤弘典 田平将大 尾形勇祐 藤野稜大 五十嵐大騎 山口陽平 上甲兼弘 桐原一紘 明石和樹 藤井敬宏 伊東英幸	16年12月

(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	国道44号におけるエゾシカの交通事故発生要因の分析	鷺尾朋紀 伊東英幸 藤井敬宏	17年3月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	国道44号に建設されたアーチカルバートにおけるエゾシカの利用実態分析	大塚 純 伊東英幸 藤井敬宏	17年3月
■その他 (報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等)			
名古屋大学未来材料・システム研究所 共同研究 報告書	革新的なバイオマスエネルギー導入に伴う環境・健康影響評価およびシステム最適化の手法開発	伊東英幸 藤井 実 大場 真 佐藤ゆき 林希一郎	17年3月
国立環境研究所 環境省地球環境研究総合推進費 報告書	環境保全オフセットにおける生態系サービス評価手法の研究	大場 真 林希一郎 伊東英幸	17年3月
地盤工学研究室 (峯岸邦夫 教授・山中光一 助教)			
■審査論文			
(公社)地盤工学会 第60回地盤工学シンポジウム論文集 pp.133-136	関東ロームの物理特性および支持力特性に及ぼす攪拌時間の影響	峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗	16年12月
(公社)地盤工学会 第60回地盤工学シンポジウム論文集 pp.141-146	石灰安定処理を施した2層構造路床における弾性係数算出位置の検討	峯岸邦夫 山中光一 野田遼斗	16年12月
(公社)地盤工学会 第60回地盤工学シンポジウム論文集 pp.289-292	転炉スラグ混合粘性土の力学特性および膨張特性に関する考察	峯岸邦夫 山中光一 吉澤千秋 小高秀登	16年12月
国際ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス論文集 (第31巻) pp.9-15	軟弱路床を対象としたジオシンセティックスの耐久性および通水性に及ぼす目付量の影響	峯岸邦夫 山中光一 小野寺貴史 伊藤陸夫 柳沼宏始	16年12月
■口頭発表			
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	CBRが安定処理した路床弾性係数の材料定数に及ぼす影響	野田遼斗 山中光一 櫻井啓汰 峯岸邦夫	16年10月
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	石灰安定処理を施した2層構造路床の弾性係数に及ぼす改良厚さの影響	野田遼斗 山中光一 峯岸邦夫	16年10月
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	面状補強材を混合した粘性土の補強効果に及ぼす補強材厚さの影響	瀬川哲熙 山中光一 峯岸邦夫	16年10月
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	短繊維混合補強土の締固めおよび強度変形特性に及ぼす繊維混入率の影響	若島久将 峯岸邦夫 山中光一 石原一樹	16年10月
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	関東ロームの攪拌時間が物理特性とCBRに及ぼす影響	岡田貴行 峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗	16年10月
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	混合地盤材料の強度特性に及ぼす混入材形状の影響	野谷直登 山中光一 峯岸邦夫	16年10月
(公社)地盤工学会 第13回地盤工学会関東支部発表会 (Geo-Kanto2016)	製鋼スラグ混合粘性土の力学特性に及ぼすスラグ混入率の影響	峯岸邦夫 山中光一 吉澤千秋 藤信光生 弓場健史	16年10月
(公社)地盤工学会 第51回地盤工学研究発表会	安定処理した関東ロームの締固め特性とCBRに及ぼす安定材添加率と攪拌時間の影響	峯岸邦夫 山中光一 若月洋朗	16年9月
(公社)地盤工学会 第51回地盤工学研究発表会	ジオセル補強路盤の支持力に及ぼす材料特性の影響	伊藤友哉 峯岸邦夫 山中光一	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会 第三部門	透水性舗装に用いる多層構造ジオシンセティックスの材料特性に及ぼす目付量の影響	峯岸邦夫 山中光一 小野寺貴史 伊藤陸夫 柳沼宏始	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会 第三部門	転炉スラグ混合粘性土の力学特性に及ぼす混入率の影響	峯岸邦夫 山中光一 小高秀登 吉澤千秋	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会 第三部門	竹廃材を混入した土系舗装の性能指標に及ぼす配合条件の影響	山中光一 峯岸邦夫 天池澄乃 伊藤友哉	16年9月
第13回地盤工学会関東支部発表会	CBRが安定処理した路床弾性係数の材料定数に及ぼす影響	野田遼斗 山中光一 櫻井啓汰 峯岸邦夫	16年10月
第13回地盤工学会関東支部研究発表会	石灰安定処理を施した2層構造路床の弾性係数に及ぼす改良厚さの影響	野田遼斗 山中光一 峯岸邦夫	16年10月

第13回地盤工学会関東支部研究発表会	面状補強材を混合した粘性土の補強効果に及ぼす補強材厚さの影響	瀬川哲熙 山中光一	峯岸邦夫	16年10月
第13回地盤工学会関東支部研究発表会	短繊維混合補強土の締固めおよび強度変形特性に及ぼす繊維混入率の影響	若島久将 山中光一	峯岸邦夫 石原一樹	16年10月
第13回地盤工学会関東支部研究発表会	関東ロームの攪拌時間が物理特性とCBRに及ぼす影響	岡田貴行 山中光一	峯岸邦夫 若月洋朗	16年10月
第13回地盤工学会関東支部研究発表会	混合地盤材料の強度特性に及ぼす混入材形状の影響	野谷直登 峯岸邦夫	山中光一 峯岸邦夫	16年10月
第13回地盤工学会関東支部研究発表会	製鋼スラグ混合粘性土の力学特性に及ぼすスラグ混入率の影響	峯岸邦夫 吉澤千秋 弓場健史	山中光一 藤信光生	16年10月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

フジテレビ 神ギ聞	解説「埋立地の底ってどうなっているの？」	峯岸邦夫	17年2月
建設工業調査会 ベース設計資料 No.172 土木編	地盤構造物への新材料の利用 ―新材料の現状と今後―	峯岸邦夫	17年3月

道路交通研究室（安井一彦 准教授・池田隆博 助教）

■審査論文

(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.55-66	複数衛星系における信号強度と搬送波位相変化量を用いたマルチパス検知手法に関する研究	池田隆博	佐田達典	16年7月
(公社)日本測量協会 応用測量論文集 (27巻) pp.67-76	測位に使用する衛星の配置と鉛直方向精度に関する研究	酒井昂紀 江守 央	佐田達典 池田隆博	16年7月
(公社)土木学会 土木学会論文集F3 (土木情報学) (72巻2号)	移動時の高精度測位におけるマルチパス判別手法を用いた衛星除去効果に関する研究	池田隆博		17年3月

■口頭発表

(一社)日本写真測量学会 平成28年度年次学術講演会	移動体におけるGNSS測位のBeiDou併用効果に関する研究	池田隆博		16年5月
(公社)土木学会 第41回土木情報学シンポジウム	移動時のGNSS測位における誤差電波の除去効果に関する研究	池田隆博		16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	測位に使用する衛星位置と鉛直方向精度に関する実証的研究	酒井昂紀 江守 央	佐田達典 池田隆博	16年9月
(公社)土木学会 第71回年次学術講演会	BeiDouを併用した高精度移動測位における回折波の除去効果に関する研究	池田隆博		16年9月
(公社)土木学会 第54回土木計画学研究発表会	単路部における押ボタン式信号機の利用実態に基づく交通管制方式の比較評価に関する研究	細島豪人 稲垣具志	安井一彦	16年11月
(公社)土木学会 第44回関東支部技術研究発表会	運転免許取得の難易度と国別の交通事故の発生状況に関する研究	LEE SANGJO 安井一彦	池田隆博	17年3月

■その他（報告書、作品、執筆、テレビ出演、新聞記事等）

(一財)東京都交通安全協会 推進員だより (225号)	国際ルールの国際標準化	安井一彦		16年5月
(一財)東京都交通安全協会 推進員だより (226号)	飲酒運転事故を無くすためには	安井一彦		16年7月
(一財)東京都交通安全協会 推進員だより (227号)	交通事故が無くなる日	安井一彦		16年9月
(一財)東京都交通安全協会 推進員だより (228号)	大型車の事故対策	安井一彦		16年11月
(公社)高速道路調査会 高速道路と自動車 Vol.59 No.11 p.15	交通事故が無くなる日	安井一彦		16年11月
(一財)東京都交通安全協会 推進員だより (229号)	高齢者と交通事故	安井一彦		17年1月
(公社)日本測量協会 測量 THE JOURNAL OF SURVEY 地理空間情報の科学と技術 テクニカル・レポート	衛星測位における信号強度と搬送波位相変化量を用いたマルチパス検知手法の適用効果に関する検証	池田隆博		17年1月
(一財)東京都交通安全協会 推進員だより (230号)	交通事故のない社会の実現	安井一彦		17年3月

社会的活動

2016. 4. 1～2017. 3. 31

■小早川 悟 教授

(公社)日本交通政策研究会 東京都市圏における物資流動データを用いた都市内配送実態の分析 プロジェクトリーダー
(公社)日本交通政策研究会 これからの道路交通政策 委員
(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員長
(一社)交通工学研究会 第1学術小委員会 副委員長
(一社)交通工学研究会 第2学術小委員会 委員
(一社)交通工学研究会 交通工学論文賞技術賞選考委員会 委員
(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計計算ソフト小委員会 委員長
(一社)交通工学研究会 平面信号委員会 委員
(一社)交通工学研究会 駐車場地域ルール検討委員会 委員
(一社)交通工学研究会 千葉県国道版道路監査委員会 委員長
(一社)日本シェアサイクル協会 理事
(公財)国際交通安全学会 マレーシアにおける情報共有型交通安全対策スキームの実施支援 委員
(一財)国土技術研究センター 最近の交通問題と道路サービス(新道路研究会) 委員
システムダイナミックス学会日本支部 副会長
国土交通省道路局 大型車両の円滑な通行のための道路施策に関する研究会 座長
国土交通省都市局 大規模マニュアル改訂の準備委員会 委員
国土交通省関東地方整備局 東京都市圏交通計画協議会 委員
警察庁 科学警察研究所 特別研究員
千葉県 大規模小売店舗立地審議会 委員
中央区 東京駅前地区駐車場整備計画検討委員会 委員
中央区 東京駅前地区駐車場地域ルール策定協議会 委員
港区 駐車場地域ルール策定委員会 会長
立川市 市政アドバイザー
大丸有・神田地区等グリーン物流促進協議会 会長

■佐田達典 教授

(公社)日本測量協会 理事
(公社)土木学会 土木情報学委員会 副委員長
(公社)日本測量協会 機関誌「測量」編集委員会 委員長
(公社)日本測量協会 応用測量論文集編集委員会 委員長
(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画運営委員会 委員
(一社)全国土木施工管理技士会連合会 企画事業委員会 委員
(一財)日本建設情報総合センター 理事
国土交通省国土地理院 3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発委員会 委員長
国土交通省国土地理院 測量機器及び測量成果の検討機関登録に関する検討会 委員長
国土交通省国土地理院 総合評価委員会 委員
国土交通省総合政策局 地域づくり・建設施工等に係る企画競争有識者委員会 委員
国土交通省国土技術政策総合研究所 委託研究アドバイザー会議 委員
QBIC～QSS 連携(地図分野) 準天頂衛星利活用推進会議 座長
QBIC～QSS 連携(土木・建設分野) 準天頂衛星利活用推進会議 有識者

■下川澄雄 教授

(一社)交通工学研究会 技術顧問
(一社)交通工学研究会 査読委員
(一社)交通工学研究会 基幹研究 道路の交通容量とサービスの質に関する研究グループ(第Ⅱ期) 委員
(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 伊豆市中心市街地交通まちづくり会議 委員
(公財)日本交通管理技術協会 交通管理機器の高度化に関する調査研究委員会 委員
(公財)日本交通管理技術協会 交通管理技術の海外移転等に関する研究委員会 グローバル仕様体系作成作業部会 作業部長
静岡県 静岡県ラウンドアバウト検討委員会 委員
静岡県 浜名湖観光圏インフラネットワークワーキング 委員
静岡県、浜松市、湖西市 浜名湖地域振興・減災協議会 会長
浜松市 浜松市のみちづくり計画策定委員会 委員長
浜松市 浜松市立地適正化計画検討会 委員
浜名湖地域舟運都市構想研究会 浜名湖地域舟運都市構想研究会 委員

NPO法人 まちづくりサポーター FUJI 理事

■下辺 悟 教授

(公社)地盤工学会 基準部 室内試験規格・基準委員会 委員 (WG1物理特性)
(公社)地盤工学会 「アカデミックロードマップと発展史・人物史」小委員会 委員(第3章)
(公社)地盤工学会 基準部 JIS A 1205 土の液性限界・塑性限界試験方法改定WG グループリーダー

■轟 朝幸 教授

(公社)土木学会 技術推進機構 技術者教育プログラム審査委員会 委員
(一社)国土政策研究会 会誌編集委員会 委員
(一社)交通工学研究会 新規出版企画小委員会 委員
(独)環境再生保全機構 局地汚染地域における重点対策地区設定手法に関する調査研究検討会 委員
国土交通省 交通政策審議会 航空分科会 臨時委員
国土交通省航空局 総合評価委員会 委員
国土交通省東京航空局 総合評価委員会 委員
国土交通省関東運輸局 地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会 委員
東京都 空港アクセスバス強化促進協議会 座長
千葉県 国土利用計画地方審議会 委員
千葉県 県土整備公共事業評価審議会 委員
千葉県 入札監視委員会 委員
千葉県 建設工事総合評価 委員
千葉県 成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関する検証小委員会 委員長
葛飾区 入札監視等委員会 委員
青梅市 公共交通活性化協議会 委員(議長)
千葉市 新基本計画審議会 委員
千葉市 産業用地整備支援事業審査会 委員
鎌ヶ谷市 建設工事総合評価委員
松戸市 建設工事総合評価委員
船橋市 地域公共交通活性化協議会 委員
佐倉市 地域公共交通活性化協議会 委員
佐倉市 立地適正化計画作成懇話会 委員(副会長)
山武市 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)
木更津市 地域公共交通活性化協議会 委員(会長)
木更津市 金田地区都市再生整備計画事業事後評価委員会 委員
大網白里市 地域公共交通活性化協議会 委員(副会長)
大網白里市 大網駅周辺整備検討委員会 委員
八街市 地域公共交通協議会 委員(副会長)
御前崎市 道路計画検討委員会 委員長

■福田 敦 教授

(公社)土木学会 国際センター プロジェクトグループ インフラ国際貢献・国際協力アーカイブス WG 代表

(公社)土木学会 関東支部 幹事

(一社)交通工学研究会 理事

(一社)日本技術者教育認定機構 (JABEE) 認定・事業委員会 委員

(一社)日本私立大学連盟 FD 推進ワークショップ運営委員会 委員

(一社)海外運輸協力協会 アドバイザー

(公財)国際交通安全学会 「人」委員会 委員

(公財)日本交通管理技術協会 交通管理機器の高度化調査研究委員会 会長

(独)国際協力機構 タイ国 バンコク - チェンマイ高速鉄道整備事業準備調査にかかる国内支援委員会 委員

(独)国際協力機構 ベトナム 国国としての適切な緩和行動 (NAMA)計画及び策定支援プロジェクト(気候変動緩和策に関する技術評価)【有償勘定技術支援】国内支援員会 委員

(独)国際協力機構、政策研究大学院大学 東南アジア行政組織開発にかかる情報収集・確認調査 日本の開発経験調査 大都市社会資本分科会 委員

日本環境共生学会 理事・関東支部長

EASTS-Japan 理事

システムダイナミックス学会日本支部 会長

System Dynamics Society, Asia-Pacific Policy Council, member

Asia Transportation Research Society, Honorable Advisor

千葉市 都市計画審議会 委員

八千代市 都市計画審議会 委員

■藤井敬宏 教授

国土交通省関東運輸局 千葉県バリアフリーネットワーク会議 座長

静岡県 岳南都市圏総合都市交通計画協議会 副会長

港区 バリアフリー推進協議会 会長

品川区 旗の台周辺地区バリアフリー計画策定協議会 会長

中野区 都市再生整備事後評価委員会 会長

武蔵村山市 地域公共交通会議 会長

伊勢原市 地域公共交通会議 会長

我孫子市 都市計画審議会 会長

我孫子市 地域公共交通協議会 委員

市原市 地域公共交通会議 座長

市原市 都市再生協議会 委員

市原市 バリアフリー推進協議会 会長

市原市 公共交通の地域協議会 アドバイザー

市原市 総合評価方式による入札評価 委員

市原市 福祉有償運送運営協議会 委員

市川市 都市計画審議会 副会長

市川市 公共交通協議会 会長

柏市 立地適正化計画策定検討会議 副会長

柏市 地域公共交通活性化協議会 会長

君津市 地域公共交通会議 アドバイザー委員

東金市 総合交通計画策定協議会 委員

習志野市 福祉有償運送運営協議会 会長

船橋市 都市計画審議会 委員

船橋市 地球温暖化協議会 会長

船橋市 地球環境審議会 委員

富津市 地域公共交通会議 委員

八千代市 公共交通会議 委員

伊豆の国市 地域公共交通会議 委員

下田市 地域公共交通会議 委員

下田市 地域公共交通戦略分科会 委員

裾野市 都市計画審議会 会長

裾野市 総合計画審議会 委員

裾野市 地域公共交通活性化協議会 委員

富士宮市 都市計画審議会 会長

富士宮市 地域公共交通会議 委員

■峯岸邦夫 教授

(公社)土木学会 技術者教育プログラム審査委員会 幹事長

(公社)土木学会 技術功労賞選考委員会 副委員長

(公社)土木学会 教育企画部門 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 委員長

(公社)土木学会 教育企画部門 教育企画・人材育成委員会 委員

(公社)地盤工学会 関東支部 幹事長

(公社)地盤工学会 関東支部 表彰委員会 委員

(公社)地盤工学会 関東支部 幹事長

(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内委員会

国際ジオシンセティックス学会日本支部 論文集編集委員会

国際ジオシンセティックス学会日本支部 新技術委員会委会

国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事

国際ジオシンセティックス学会 表彰委員会 副委員長

国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所 総合評価審査分科会 委員

国土交通省関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所 総合評価審査分科会 委員

船橋市 一般競争入札【総合評価型】 学識経験者

芝山町 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 学識経験者

■石坂哲宏 准教授

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事

(一社)交通工学研究会 編集委員会 委員

(一社)交通工学研究会 学術委員会 委員

(公財)日本交通技術管理協会 交通管理機器の高度化に関する調査研究委員会海外展開用の提案資料作成部会 副部会長

(公財)日本交通技術管理協会 交通管理機器の高度化に関する調査研究委員会グローバル仕様体系の作成部会 副部会長

Eastern Asia Society for Transportation Studies, International Scientific Committee

システムダイナミックス学会日本支部 理事

■伊東英幸 准教授

(公社)土木学会 国際センター 情報グループ幹事会 幹事

(公社)土木学会 関東支部 企画部会 幹事

国際影響評価学会 (IAIA) 日本支部 環境社会配慮研究部会 幹事

国際影響評価学会 (IAIA) 2016大会実行委員会 幹事

国際影響評価学会 (IAIA) 2016大会 Logistics Committee 幹事

環境アセスメント学会 企画委員会小冊子 WG 委員

環境アセスメント学会 2016年度第15回大会実行委員会 委員

環境アセスメント学会 生態系研究部会 委員

環境アセスメント学会 若手研究会 幹事

環境アセスメント学会 学術委員会 委員

ライフサイクルアセスメント学会 ライフサイクルインパクト評価研究部会 メンバー

システムダイナミックス学会日本支部 理事

山梨県 環境影響評価等技術審議会 委員

道路生態研究会 メンバー

なごや生物多様性保全活動協議会 委員

岐阜大学 地域科学部地域政策学科 非常勤講師

■安井一彦 准教授

(一社)交通工学研究会 交通工学研究発表会 査読委員

(一社)交通工学研究会 首都高速道路交通安全対策検討会 委員

千葉県警察本部 交通事故調査委員会 委員

千葉県 国道464号千葉 NT 地区交通対策検討会議 議長

■稲垣具志 助教

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 学術小委員会 委員

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり研究小委員会 委員

(公社)土木学会 土木計画学研究委員会 自転車政策研究小委員会 幹事

(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト これからの道路交通政策―道路・交通管理から考える― 委員

(公社)日本交通政策研究会 自主研究プロジェクト 東京都市圏における物資流動データを用いた都市内配送実態の分析 委員

(一社)交通工学研究会 事業委員会 委員

(一社)交通工学研究会 交通工学ハンドブック改訂小委員会 委員

(一社)交通工学研究会 高齢者交通事故の原因とその交通安全施策に係る研究 委員

(一社)交通工学研究会 自転車通行システムの整序化研究グループ 委員

(一社)交通工学研究会 生活道路に関する検討小委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 会誌委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 身体と空間特別研究委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 住民参画・社会環境特別研究委員会 幹事

(一社)日本福祉のまちづくり学会 IPC アクセシビリティガイド 英文和訳委員会 委員

(一社)日本交通科学学会 評議員

(一社)日本交通科学学会 交通科学文献調査委員会 幹事

内閣官房 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた接遇・心のバリアフリー理解促進調査検討委員会 委員

内閣官房 平成28年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査 (ユニバーサルデザインの社会づくりに向けた調査) 審査委員会 審査委員

国土交通省総合政策局 移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準等検討委員会 委員

東京都 福祉のまちづくり推進協議会 委員

東京都 福祉のまちづくり推進協議会 専門部会 委員

東京都 自転車安全利用指導員業務委託技術審査委員会 特別委員
埼玉県教育委員会 高校生の自動二輪車等の交通安全に関する検討委員会 会長

武蔵野市 自転車等駐車対策協議会 委員

武蔵野市 バリアフリー基本構想評価委員会 副会長

武蔵野市 バリアフリーネットワーク会議 会長

世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会 委員

世田谷区 ユニバーサルデザイン環境整備審議会 第3部会 (道路、公園、公共交通関連) 部会長

世田谷区 自転車等駐車対策協議会 委員

世田谷区 区立自転車等駐車場指定管理者選定委員会 委員

西東京市 地域公共交通会議 副会長

鎌倉市 交通計画検討委員会 委員

鎌倉市 交通計画検討委員会 専門部会 委員

鎌倉市 自転車等駐車場指定管理者選定委員会 委員長

二子玉川商店街振興組合 交通アドバイザー

二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 委員

二子玉川通り名検討委員会 委員長

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクセシビリティ協議会 交通・アクセス部会 道路輸送作業部会 学識委員

■江守 央 助教

(公社)土木学会 教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会 副幹事長

(公社)土木学会 移動権に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事

(一社)日本福祉のまちづくり学会 理事

(一社)日本福祉のまちづくり学会 国際特別研究委員会 委員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 代議員

(一社)日本福祉のまちづくり学会 事務局次長

大田区 大田区移動円滑化推進協議会 副委員長

大田区 区民サービス及び移動等円滑化に関するガイドライン専門部会・作業部会 委員

大田区 区民サービス及び移動等円滑化に関するガイドライン区民検討会・ハード部会 部会長

三鷹市 三鷹市バリアフリーのまちづくり推進協議会 副会長

船橋市 船橋市都市再生整備計画事業事後評価委員会 副委員長

八千代市 八千代市福祉有償運送運営協議会 会長

鎌ヶ谷市 鎌ヶ谷市福祉有償運送運営協議会 会長

松戸市 バリアフリー市民会議 編集委員

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたアクセシビリティ協議会 交通・アクセス部会海上輸送作業部会 委員

■齊藤準平 助教

(公社)土木学会 コミュニケーション部門 土木広報連絡会 関東支部委員

(公社)土木学会 関東支部 広報部会 副主査

(公社)土木学会 関東支部 運営幹事会 幹事

(公社)土木学会 総務部会 技術功労賞選考委員会 幹事

■山中光一 助教

(公社)土木学会 関東支部 広報部会 幹事

(公社)土木学会 関東支部 学術研究部会 幹事

(公社)土木学会 国際センター 情報グループ 情報グループ幹事会 委員

(公社)地盤工学会 TC202 Transportation Geotechnics 国内委員会 委員

(公社)地盤工学会 関東支部 千葉県グループ 幹事

(公社)地盤工学会 関東支部 会員サービスグループ 幹事

ジオシンセティックス学会日本支部 ジオシンセティックス技術情報誌編集委員会 委員

NPO 法人舗装診断研究会 技術普及委員会 FWD 普及小委員会 委員

NPO 法人舗装診断研究会 技術普及委員会 事例収集小委員会 委員

■吉岡慶祐 助手

(一社)交通工学研究会 ラウンドアバウト技術指針出版小委員会 委員兼幹事

(一社)交通工学研究会 資格委員会 委員

(一社)交通工学研究会 平面交差の計画と設計 計算ソフト検討作業部会 委員

学外学術活動

2016. 4. 1～2017. 3. 31

■小早川 悟 教授

講演：ICT(情報通信技術)を用いた新たな交通管理手法の新展開、Parking Management System in Japan／京畿大学校工科大学都市・交通工学科および日本大学理工学部交通システム工学科／京畿大学校 2016.7.1

講演：東京都市圏総合都市交通体系調査「市区町村」説明会「端末物流に配慮したまちづくり」／東京都市圏交通計画協議会／アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 2016.7.22

座長：第36回交通工学研究発表会「都市交通調査とデータの応用」／交通工学研究会／日本大学理工学部 2016.8.9

講師：JICA 集団研修「総合都市交通計画プロジェクト」／Parking Managemant／(独)国際協力機構／JICA 東京 2016.10.26

司会：第54回土木計画学研究発表会「選択行動分析」／(公社)土木学会／長崎大学 2016.11.6

講演：なら 8 交通安全シンポジウム—生活道路の安全策を考える、国内外の生活道路の安全対策／習志野台 8 丁目町会／習志野台 8 丁目会館 2017.2.25

■佐田達典 教授

開会挨拶：応用測量研究発表会／(公社)日本測量協会／全水道会館 2016.7.26

座長：第71回土木学会年次学術講演会／共通セッション：土木分野におけるセンサ利用の可能性／(公社)土木学会／東北大学 2016.9.9

講演：社会インフラのためのセンサ標準化ガイドライン講習会／「ガイドラインの背景と目的」／(公社)土木学会土木情報学委員会／土木学会 2016.10.27

講演：社会インフラのためのセンサ標準化ガイドライン講習会／「ガイドラインの背景と目的」／(公社)土木学会土木情報学委員会／オカムラ大阪ショールーム 2016.11.16

■下川澄雄 教授

オーガナイザー：第53回土木計画学研究発表会「道路の階層区分を考慮した交通性能照査手法」／(公社)土木学会／北海道大学 2016.5.28

講演：まちづくりフォーラム2016／(一財)浜松まちづくり公社／浜松こども館分室ギャラリー 2016.7.8

講師／平成28年度道路設計演習「道路の計画設計の現状と今後の展望」／(一財)全国建設研修センター／全国建設研修センター 2016.7.19

講演：ミニシンポジウム「階層型道路ネットワークの実現に向けて」／(一社)交通工学研究会／サンポートホール高松 20.16.11.8

講演：平成28年度道路・交通安全専門委員会セミナー／(一社)建設コンサルタンツ協会／建設コンサルタンツ協会本部 2016.12.2

講演：静岡県ラウンドアバウトセミナー／静岡県／静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 2017.2.15

講演：山形階層的道路ネットワーク意見交換会／(一社)交通工学研究会／国土交通省山形河川国道事務所 2017.3.9

■下辺 悟 教授

座長：第44回土木学会関東支部技術研究発表会／(公社)土木学会／埼玉大学 2017.3.8

■轟 朝幸 教授

講演：地域公共交通確保維持に関する情報交換会／国土交通省関東運輸局千葉運輸支局／千葉市 2016.8.23

講演：未来の空港・航空システム研究会／(一社)みなと総合研究財団／東京都 2017.2.23

講演：RSO シンポジウム「航空政策の現状と展望」／NPO リサイクルソリューション／東京都 2017.3.6

講師：FD 学習会「JABEE についての講演」／宇都宮大学地域デザイン学部／宇都宮市／2017.3.15

■福田 敦 教授

モデレータ：平成28年度FD推進ワークショップ(専任教職員向け)／(一社)日本私立大学連盟／TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 2016.6.18

報告：平成28年度 IBS フェローシップ発表会「バンコクの軌道系公共交通機関沿線における土地開発の実態」／(一財)計量計画研究所／スクワール麹町 2016.7.14

講義：JICA 研修「都市公共交通」(A)／Sustainable Urban Transportation System in Asia Mega City (アジア大都市の持続可能な都市交通システム)／(独)国際協力機構／JICA 東京 2016.7.24

講演：第 2 回 タイ国 バンコク - チェンマイ 高速鉄道整備事業準備調査関係者招聘／National Development with Railway -Experiences in Japan-／(独)国際協力機構、国土交通省／国土交通省 2016.7.26

講義：TOT (Training of Trainers) on Monitoring and Evaluation /Area Development with Railway -Experiences in Japan- /BAPPENAS (インドネシア政府の国家開発企画庁)、インドネシア・ガジャマダ大学都市・地域計画専攻、後半は提携先拓殖大学／日本大学理工学部船橋キャンパス 2016.8.1

モデレータ：平成28年度FD推進ワークショップ(新任専任教職員向け)／(一社)日本私立大学連盟／グランドホテル浜松 2016.8.2-3

招待講演：Khan Kaen Unrverslty International Engineering Conference 2016 (KKU-IENC2016)／Imoact on Fuel Consumption Reduction of Introduction Hybrid Car in Bangkok Central Area by Using Probe Information and Mobile Fuel Consumption Measermnt／Khan Kaen Unrverslty /Khan Kaen Unrverslty 2016.8.4

講演：9th ATRANS Symposium on Transportation for a Better Life: Safe and Smart Cities / Session 1: Panel Discussion on Safe & Smart Cities / Recent Attempts to Create Smart City in Japan + a / Asia Transportation Research Society / Hotel Le Bua, Bangkok, Thailand 2016.8.19

司会：9th ATRANS Symposium on Transportation for a Better Life: Safe and Smart Cities / Session: 3A Transport infrastructure and Transit Oriented Development (TOD), / Asia Transportation Research Society / Hotel Le Bua, Bangkok, Thailand 2016.8.19

討論者：第19回(2016年度)学術大会／環境共生学会／セッション A1「都市・地域政策」／立正大学品川キャンパス 2016.9.18

招待講演：The 19th Forum Studi Transportasi antar Perguruan Tinggi (FSTPT) Symposium / FSTPT, Department of Civil Engineering, Faculty of Civil Engineering and Planning, Islamic University of Indonesia / Islamic University of Indonesia 2016.10.12

パネリスト：ITS World Congress 2016 / SIS59 - Traffic State Estimation Using Various Sensing Data / Traffic State Estimation Using Probe Data / ITS Australia / Melbourne Convention and Exhibition Center 2016.10.14

講義：平成28年度 JICA 課題別研修「総合都市交通計画」コース／都市交通計画の立案と実例(千葉都市モノレール計画)／(独)国際協力機構／日本大学理工学部船橋キャンパス 2016.11.2

司会：第54回土木計画学研究発表会「分野横断型セッション(3)海外事例」／(公社)土木学会／長崎大学 2016.11.5

講義：平成28年度 JICA 課題別研修「総合都市交通計画」コース／JICA ストラダを用いた交通需要推計／(独)国際協力機構／JICA 東京 2016.11.7-8, 11, 14

特別講演：交通管理技術研究発表会「モバイルデータを活用した交通管理の可能性」／警察庁／警察庁 2016.11.11

講演：Meeting of Working Group on ERIA Research Project FY2016 / Addressing Energy Efficiency through Traffic Improvement / History of City and Transportation Development in Japan / Economic Research Institute for ASEAN and East Asia / IEEJ Conference Room 2017.1.16

講義：JICA 研修「都市公共交通」(B) / Sustainable Urban Transportation System in Asia Mega City (アジア大都市の持続可能な都市交通システム) / (独)国際協力機構 / JICA 東京 2017.1.26

講演、パネリスト：ATrans Public Forum / Review Thailand Transportation System / Mass transit & Sub-urban Rail and Traffic management during construction / Asia Transportation Research Society / Hilton Sukhumvit Bangkok Hotel, Bangkok, Thailand 2017.1.27

招待講演：5th Thailand Bike and Walk Forum / Walking and Cycling as a mean of Transport -Experiences in Japan- / Thailand Cycling Club (TCC), Thailand Walking and Cycling Institute (TWCI) / Chulalongkorn University 2017.3.3

座長：第44回土木学会関東支部技術研究発表会「公共交通計画」／(公社)土木学会関東支部／埼玉大学 2017.3.7

招待講演、パネリスト：Defining the 2nd Blueprint for Bangkok Mass Rapid Transport / Importance of solid demand forecast in the railway master plan based on Japan's experiences / (独)国際協力機構, Office of Transport and Traffic Policy and Planning, Ministry of Transport / St. Regis Hotel 2017.3.10

■藤井敬宏 教授

講演：今、都市計画に何が求められるか／裾野市都市計画審議会／裾野市役所会議室 2016.5.27

講演：地域公共交通網形成計画について／裾野市地域公共交通会議／裾野市役所会議室 2016.10.25

講演：国土交通省バリアフリー基本構想策定セミナー／継続的なバリアフリーの取り組み／国土交通省関東運輸局交通政策部／国土交通省合同庁舎会議室 2016.10.28

講演：越境ニーズを意識した公共交通のあり方を考える地域公共交通地域ブロック研修会／利用者ニーズに沿った自治体の公共交通のあり方／国土交通省中部運輸局交通政策部／名古屋合同庁舎 2016.11.1

講演：千葉県バリアフリーネットワーク会議基調講演／バリアフリーに向けた継続的な自治体の取り組みと更なる気づきへのアプローチ／国土交通省千葉運輸支局／日本大学理工学部会議室 2016.11.25

講演：心のバリアフリーのスパイラルアップに向けた行動マニュアルの運用方法に関する研究—千葉県市原市の取り組み—／市原市バリアフリー推進協議会／市原市役所会議室 2017.2.9

■峯岸邦夫 教授

座長：土木学会第71回年次学術講演会第Ⅲ部門「補強土(2)」／(公社)土木学会／東北大学 2016.9.9

■石坂哲宏 准教授

司会：第54回土木学会土木計画学研究発表会「交通行動分析(1)」／(公社)土木学会土木計画学委員会／長崎大学 2016.11.5

司会：交通工学研究発表会「都市交通調査とデータの応用」／(一社)交通工学研究会／日本大学 2016.8.9

■伊東英幸 准教授

Chairman：36th Annual Conference of the International / Association for Impact Assessment Session : Ecological knowledge and the application in IA / International Association for Impact Assessment (IAIA) 2016 / Nagoya Congress Center 2016.5.12

講演：第17回環境講習会「ビッグデータやオープンデータを利用した豊かな社会づくり」／オープンデータ等を用いた生態系および生態系サービスのインフラ整備による影響評価／(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部環境専門委員会、都市計画

専門委員会／けんぼプラザ 2016.11.17

基調講演：道路生態研究会第3回研究発表会「米国およびわが国における道路事業における生物多様性オフセット」／道路生態研究会／(公財)高速道路調査会 2016.12.3

座長：第44回土木学会関東支部技術研究発表会第Ⅶ部門「環境影響(2)」／(公社)土木学会／埼玉大学 2017.3.7

講演：第64回日本生態学会企画集会／生態学から生物多様性オフセットを考える「米国・豪州における生物多様性オフセットの評価手法から得られる示唆」／(一社)日本生態学会／早稲田大学 2017.3.18

■稲垣具志 助教

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／江戸川区民センター 2016.4.26

講師：平成28年度交通安全教室事業委託説明会「子どもの道路横断能力とは?～安全対策・教育の新たな視点～」／世田谷区／三軒茶屋キャロットタワー 2016.4.27

講師：IPC (国際パラリンピック委員会)アクセシビリティガイド翻訳報告会「アクセスシブルでインクルーシブな開催都市と大会を目指して」／(一社)日本福祉のまちづくり学会／中央大学後楽園キャンパス 2016.5.10

講師：IPC (国際パラリンピック委員会)アクセシビリティガイド翻訳報告会「アクセスシブルでインクルーシブな開催都市と大会を目指して」／(一社)日本福祉のまちづくり学会／中央大学後楽園キャンパス 2016.5.16

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／曳舟区民センター 2016.5.18

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／北とびあ 2016.5.25

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／町田市民ホール 2016.6.3

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／荏原文化センター 2016.6.29

講師：IPC (国際パラリンピック委員会)アクセシビリティガイド翻訳報告会「アクセスシブルでインクルーシブな開催都市と大会を目指して」／(一社)日本福祉のまちづくり学会／合人社ウエンディひと・まちプラザ(旧広島市まちづくり市民交流プラザ) 2016.7.9

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／銀座プロッサム 2016.7.20

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／銀座プロッサム 2016.7.27

副座長：第36回交通工学研究発表会「交通安全(2)」／交通工学研究会／日本大学理工学部駿河台キャンパス 2016.8.9

パネリスト：二子玉川交通安全シンポジウム「二子玉川地区の交通安全活動の今までとこれから」／二子玉川地区交通環境浄化推進協議会／玉川町会会館 2016.8.19

講師：IPC (国際パラリンピック委員会)アクセシビリティガイド翻訳報告会「アクセスシブルでインクルーシブな開催都市と大会を目指して」／(一社)日本福祉のまちづくり学会／愛知県産業労働センター 2016.9.2

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／オリンパスホール八王子 2016.9.7

講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点～子どもの道路横断能力とは?～」／東京都交通安全協会／世田谷区民会館 2016.9.14

講師：交通安全セミナー「子どもの道路横断能力とは?～安全対

策・教育の新たな視点〜」／世田谷区立池之上小学校校外委員会／世田谷区立池之上小学校 2016.9.21	点〜子どもの道路横断能力とは?〜」／警視庁／警視庁本庁 2017.3.6
講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点〜子どもの道路横断能力とは?〜」／東京都交通安全協会／北区赤羽会館 2016.11.9	座長：第44回土木学会関東支部技術研究発表会「歩行者・自転車」／(公社)土木学会関東支部／埼玉大学／2017.3.7
講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点〜子どもの道路横断能力とは?〜」／東京都交通安全協会／荏原文化センター 2016.11.15	基調講演：二子玉川交通安全シンポジウム「住民発意・住民率先型の交通安全活動」／二子玉川地区交通環境浄化推進協議会／玉川町会会館／2017.3.26
講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点〜子どもの道路横断能力とは?〜」／東京都交通安全協会／江東区文化センター 2016.11.25	■江守 央 助教
講師：第4回家庭教育学級「子どもの道路横断能力とは? ~安全対策・教育の新たな視点〜」／世田谷区立代沢小学校校外委員会／世田谷区立代沢小学校 2016.12.6	講師：アクセシビリティガイド翻訳版報告会 5月10日・16日 in 中央大後楽園／(一社)日本福祉のまちづくり学会 翻訳委員会／(公財)交通エコロジー・モビリティ財団／中央大後楽園キャンパス 2016.5.10, 16
講師：安全運転管理者講習「生活道路の安全の新たな視点〜子どもの道路横断能力とは?〜」／東京都交通安全協会／銀座プロッサム 2016.12.7	講師：IPC「アクセシビリティガイド」翻訳版報告会 6月11日 in 札幌／(一社)日本福祉のまちづくり学会 北海道支部／(一社)北海道開発技術センター 大会議室 2016.6.11
講演：オリンパス株式会社東京総務部下期中間会議「生活道路の安全の新たな視点〜子どもの道路横断能力とは?〜」／オリンパス株式会社／オリンパス株式会社本社 2017.1.20	講師：公開シンポジウム「オリンピック・パラリンピックの準備とこれから」／6月25日 in 日本大駿河台／(一社)日本福祉のまちづくり学会／日本大学駿河台キャンパス 2016.6.25
講演：世田谷区建築物安全安心推進協議会総会「視覚障害者の道路横断にまつわる課題と方向定位支援ツールによる支援」／世田谷区／三軒茶屋キャロットタワー 2017.2.1	講演：平成28年度日本大学学部連携研究推進シンポジウム／連携研究報告9／海外事例に学ぶ水上空港の整備 一水上空港ネットワーク構想の実現に向けてー／日本大学／日本大学駿河台キャンパス 2017.1.21
パネリスト：玉川ゾーン30 3周年記念式典「住民主体の交通安全活動」／二子玉川地区交通環境浄化推進協議会／世田谷区立二子玉川小学校 2017.2.4	■山中光一 助教
講演：なら8交通安全シンポジウムー生活道路の交通安全対策を考えるー「住民主体の安全対策と意識醸成」／習志野台8丁目町会／習志野台8丁目会館 2017.2.25	座長：第13回地盤工学会関東支部発表会(GeoKanto2016)、防災3／(公社)地盤工学会関東支部／日本科学未来館 2016.10.21
講師：警視庁交通安全教育実務研修「生活道路の安全の新たな視	■池田隆博 助教
	座長：平成28年度日本写真測量学会年次学術講演会／(一社)日本写真測量学会／東京大学生産技術研究所 2016.5.26

海外出張		2016. 4. 1~2017. 3. 31
教員名	出張期間／出張目的／訪問国	
小早川 悟 教授	2016年 6 月30日～7 月 2 日／京畿大学校工科大学都市・交通工学科との学術協定の更新と国際ワークショップ実施／ソウル (韓国)	
	2016年11月23日～26日／マレーシアにおける情報共有型交通安全対策スキームの実施支援／ベナン (マレーシア)	
佐田達典 教授	2016年 6 月30日～7 月 2 日／京畿大学校訪問「国際研究集会：ICT (情報通信技術) を用いた新たな交通管理手法の新展開」／ソウル (韓国)	
	2016年11月21日～12月13日／日本大学海外派遣研究員 (短期B)「欧州における衛星測位技術及び空間情報計測技術の現状分析に関する調査」／スイス、ドイツ、オーストリア	
轟 朝幸 教授	2016年 8 月27日～9 月 2 日／水上飛行機離発着場整備に関する調査／バンクーバー (カナダ)	
福田 敦 教授	2016年 4 月28日～5 月 7 日／ATRANS (アジア交通研究学会) 研究委員会への参加、その他／バンコク (タイ)	
	2016年 6 月10日～14日／WIFI スキャナの取得特性に関するプレ調査の実施および打ち合わせ／バンコク (タイ)	
	2016年 6 月22日～25日／ATRANS 研究委員会への参加等／バンコク (タイ)	
	2016年 6 月30日～7 月 2 日／ワークショップ「ICT (情報通信技術) を用いた新たな交通管理手法の新展開」／ソウル (韓国)	
	2016年 7 月 9 日～13日／14th World Conference on Transport Research (WCTR) 2016 で論文を発表／上海 (中国)	
	2016年 7 月17日～21日／SATREPS (地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム) 事前協議／アムステルダム、ハイデラバード (インド)	
	2016年 8 月 3 日～6 日／第 6 回コンケン大学国際工学会議 (International Engineering Conference) 2016 で招待講演／コンケン (タイ)	
	2016年 8 月 9 日～9 月 2 日／SATREPS の研究締結に向けた事前協議及び現地視察 /ハイデラバード、アムステルダム (インド)	
	2016年 8 月 9 日～9 月 2 日／ATRANS シンポジウム参加、エコアイランド事業の視察、ワークショップ開催、現地調査／バンコク、サムイ島、コンケン (タイ)	

	2016年 8 月 9 日～9 月 2 日／路上駐車調査／ビエンチャン (ラオス)
	2016年 9 月30日～10月 5 日／バンコク - チェンマイ 高速鉄道整備事業のための打ち合わせ／バンコク (タイ)
	2016年10月10日～15日／19th International Symposium of FSTPT Indonesian Inter-University Transportation Studies Forum (第19回インドネシア大学連合交通研究フォーラム国際シンポジウム) での講演／ジョグジャカルタ (インドネシア)
	2016年10月10日～15日／ITS (Intelligent Transport System) 世界会議に参加、発表／メルボルン (オーストラリア)
	2016年11月 2 日～5 日／ATRANS 第15回計画調整会議への参加／バンコク (タイ)
	2016年12月 8 日～11日／国土交通省とタイ運輸省の合意に基づくウタラディット県とコンケン県における交通事故地点の調査／ウタラディット、コンケン (タイ)
	2016年12月15日～19日／ATRANS 第18回 Board Meeting に出席／ブーケット、バンコク (タイ)
	2016年12月22日～26日／Bluetooth の多重化実験、指向性アンテナ試験とチュラロンコーン大学での打ち合わせ及び現地踏査／バンコク (タイ)
	2017年 1 月26日～28日／バンコクにおけるBluetooth による旅行時間計測の結果とりまとめに関する打ち合わせ／バンコク (タイ)
	2017年 1 月29日～2 月 1 日／タイにおける鉄道整備事業に関する会議に参加／バンコク (タイ)
	2017年 2 月19日～22日／the 2nd Asia-Pacific Region System Dynamics Conference 2017 (第 2 回アジア太平洋地域システムダイナミクス学会2017) で論文発表および会議に参加／シンガポール (シンガポール)
	2017年 3 月 3 日～4 日／5th Thailand Bike and Walk Forum で講演／バンコク (タイ)
	2017年 3 月 8 日～11日／Seminer “Defining the 2nd Blueprint for Bangkok Mass Rapid Transport” で講演／バンコク (タイ)
石坂哲宏 准教授	2016年 6 月13日～16日／WIFI スキャナの取得特性に関するプレ調査の実施および打ち合わせ／バンコク (タイ)
	2016年 6 月30日～7 月 2 日／京畿大学校工科大学都市・交通工学科との学術協定の更新と国際ワークショップ実施／ソウル (韓国)
	2016年 8 月10日～15日／SATREPS 事前協議および現地視察／ハイデラバード、アムステルダム (インド)
	2016年 8 月18日～21日／チュラロンコン大学のソラウィット先生との打ち合わせおよび実験場所の視察等／バンコク (タイ)
	2016年10月11日～15日／ITS (Intelligent Transport System) 世界会議に参加、発表／メルボルン (オーストラリア)
	2016年10月16日～19日／SATREPS の本締結に向けたIITH との打ち合わせ／ハイデラバード (インド)
	2016年12月22日～25日／Bluetooth スキャナに関する実験及び研究打ち合わせ／バンコク (タイ)
伊東英幸 准教授	2016年 8 月20日～31日／海外研修／ロンドン (イギリス)、アムステルダム、ロッテルダム (オランダ)、ケルン、フランクフルト (ドイツ)
	2016年 9 月19日～23日／コンケンでの現地打ち合わせ、およびバンコクでの現地調査／コンケン、バンコク (タイ)
	2016年11月14日～16日／GEOMATE2016での論文発表／バンコク (タイ)
	2016年12月 6 日～9 日／交通管理方策に関する現地調査／バンコク (タイ)
	2017年 1 月 6 日～9 日／コンケンでの現地打ち合わせ、およびバンコクでの現地調査／コンケン、バンコク (タイ)
安井一彦 准教授	2016年 6 月30日～7 月 1 日／交通関連機器に関する調査研究／ソウル (韓国)
	2016年 8 月10日～14日／交通管理方策に関する調査研究／瀋陽 (中国)
	2016年 9 月20日～23日／交通保安施設に関する調査研究／上海、南京 (中国)
	2016年 9 月30日～10月 3 日／交通管理方策に関する調査研究／瀋陽 (中国)
	2016年11月 9 日～12日／交通管理方策に関する調査研究／ソウル (韓国)
	2016年12月 7 日～10日／交通管理方策に関する調査研究／バンコク (タイ)
	2017年 1 月27日～30日／交通管理方策に関する調査研究／瀋陽 (中国)
	2017年 3 月13日～15日／交通管理方策に関する調査研究／ソウル (韓国)
池田隆博 助教	2016年10月16日～19日／インド工科大学ハイデラバード校 (IITH) にて研究打ち合わせ／ハイデラバード (インド)
	2016年11月10日～12日／ソウル研究院にて研究打ち合わせ、ソウル市内の現地調査／ソウル (韓国)
江守 央 助教	2016年 8 月27日～9 月 2 日／「水上飛行機の離発着場整備に関する基礎調査」に関して、Harbour Air Seaplanes、Transport of CANADAなどを対象にヒアリング調査及び実地調査／ビクトリア、バンクーバー (カナダ)
	2016年12月 5 日～12月 8 日／交通管理方策に関する研究のため／タイ (バンコク)

外部研究資金の受入状況

2016. 4. 1～2017. 3. 31

助成金名・委託元など（研究期間）

研究課題	教員名
（一財）日本デジタル道路地図協会（2016.7.1～2017.3.31） 大規模災害時における支援物資輸送のための道路のアクセス性解析……………	小早川 悟（代表）、稲垣具志 ほか
科学研究費補助金 基盤研究（C）（2014.4.1～2017.3.31） 衛星測位における鉛直方向精度向上手法に関する研究……………	佐田達典（代表）
（一財）国土技術研究センター（2016.2.2～2017.3.31） 階層型道路ネットワークのわが国への適用に向けた研究……………	下川澄雄（代表）、浜岡秀勝、吉岡慶祐
浜名湖水際都市創造研究会（2016.10.21～2017.3.31） 浜名湖地域における水辺のまちづくりに関する研究……………	下川澄雄
（一財）国土技術研究センター（2016.10.14～2017.2.28） 道路の構造と交通サービスに関する状況分析……………	下川澄雄
科学研究費補助金 基盤研究（B）（2016.4.1～2019.3.31） 安心安全運航のための水上飛行機離発着場整備に関する研究……………	轟 朝幸（代表）、江守 央、兵頭 知 ほか
科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究（2015.4.1～2017.3.31） 水上飛行機の離発着場整備に関する基礎調査……………	轟 朝幸（代表）、江守 央 ほか
成田国際空港株式会社（2016.7.1～2017.3.31） パードストライク実態等分析・検討（平成28）……………	轟 朝幸（代表）、兵頭 知
（一社）交通工学研究会（2016.4.1～2017.2.28） 交通管制のための交通状況と交通需要の推定技術……………	福田 敦（代表）、石坂哲宏
（独）国際協力機構（2016.11.1～2017.5.31） タイ側における地域計画連携……………	福田 敦（代表）
JX ANCI株式会社（2016.7.1～2017.3.31） 軟弱路床用強化不織布の耐久性評価に関する研究……………	峯岸邦夫
JFE ミネラル株式会社（2016.9.1～2017.3.31） 転炉スラグを用いた地盤改良……………	峯岸邦夫
名古屋大学未来材料・システム研究所（2016.4.1～2017.3.31） 革新的なバイオマスエネルギー導入に伴う環境・健康影響評価およびシステム最適化の手法開発 ……………	伊東英幸（代表）、藤井 実、大場 真、佐藤ゆき、林 希一郎
科学研究費助成事業 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31） タイ・コンケン市における生物多様性ポテンシャルマップの作成と活用施策の提案……………	伊東英幸（代表）
環境省地球環境研究総合推進費（2013.4.1～2017.3.31） 環境保全オフセット導入のための生態系評価手法の開発 「サブテーマ4：環境保全オフセットにおける生態系サービス評価手法の研究」……………	大場 真（代表）、林 希一郎、伊東英幸
住友電工システムソリューション(株)（2016.12.1～2017.3.31） 非公開……………	安井一彦（代表）
東京航空計器(株)（2016.5.10～2017.3.25） 非公開……………	安井一彦（代表）
首都高メンテナンス神奈川（2016.5.10～2017.4.30） 非公開……………	安井一彦（代表）
科学研究費補助金 若手研究（B）（2015.4.1～2018.3.31） 複数衛星系を用いた高精度測位のための誤差電波検知による衛星選択手法の構築……………	池田隆博（代表）
科学研究費補助金 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31） 視覚障害者の横断支援性を有する生活道路交通安全施設の実現に向けた実証的研究……………	稲垣具志（代表）
科学研究費補助金 基盤研究（A）（2016.4.1～2020.3.31） 我が国の自転車通行システムの整序化へのコンセンサス形成戦略……………	山中英生（代表）、稲垣具志 ほか
（公財）交通エコロジー・モビリティ財団 ECOMO 交通バリアフリー研究助成（2015.7.1～2017.2.28） 競技場・スポーツ施設利用時のアクセシビリティ向上に関する研究……………	松田雄二（代表）、稲垣具志 ほか
（一社）交通工学研究会（2016.11.8～2017.3.31） 高齢者交通事故の原因とその交通安全施策に関する研究……………	稲垣具志（代表）
学校法人中央大学 中央大学研究開発機構（2016.7.14～2017.3.31） 空港利用者の観光行動特性に対応した新たな情報システム構築に関する研究……………	江守 央（代表）、稲垣具志
科学研究費補助金 若手研究（B）（2014.4.1～2017.3.31） 損傷を受けた実構造物コンクリートのひび割れ面積比による塩分浸透特性評価法の構築……………	齊藤準平（代表）

受賞

2016. 4. 1～2017. 3. 31

（一社）日本写真測量学会／年次学術講演会論文賞／
UAVを用いたラウンドアバウトの車両挙動の観測（2016.5）…………… 吉岡慶祐

（公社）日本測量協会／応用測量論文奨励賞／
複数衛星系における信号強度と搬送波位相変化量を用いたマルチパス検知手法に関する研究（2016.7）…………… 池田隆博、佐田達典

（公社）プレストレストコンクリート工学会／第25回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム優秀講演賞／
塩分浸せき試験を用いたPRCはりのひび割れ領域部の塩分浸透に関する検討（2016.10.21）…………… 齊藤準平

（公社）土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会／優秀講演者賞／
千葉県土地利用変化に伴う絶滅危惧種の生息適地の分析（2016.11.11）…………… 伊東英幸

（公社）計測自動制御学会／SI優秀講演賞／
視覚障害者用方向定位付きLED発光ブロックの実証実験（2016.12）
…………… 永濱秀明、藤澤正一郎、佐藤克也、伊藤伸一、清山幹弘、稲垣具志、池田典弘、竹内聖人、荻野 弘、高橋和哉

平成28年度 学生の受賞等 2016. 4. 1～2017. 3. 31

主催者／賞などの内容（受賞年月）	受賞者氏名（研究室）
（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部「夢・アイデア交流会2016」／佳作／ 出合いのサイン（2016.12）……………	太田耕介（交通環境研究室）
環境アセスメント学会第15回研究発表大会／優秀ポスター賞／ 国道44号を対象としたエゾシカの交通事故対策に関する研究（2016.9）……………	大塚 純（交通環境研究室）
（公社）土木学会／土木学会平成28年度全国大会第71回年次学術講演会優秀講演者賞／ 動学SCGEモデルによる圏央道整備の地域帰着便益時系列の試算（2015.9）……………	東山洋平（交通システム研究室）
（公社）地盤工学会／優秀論文発表者賞／ ジオセル補強路盤の支持力特性に及ぼす材料特性の影響（2016.9）……………	伊藤友哉（地盤工学研究室）
平成28年度日本大学理工学部学術講演会／優秀発表賞／ アクセス利便性と出国利便性を考慮した空港選択モデルの構築—羽田空港・成田空港を対象として—（2016.12） ……………	西園知哉（運輸交通計画研究室）
平成28年度日本大学理工学部学術講演会／優秀発表賞／ 2車線道路において中間速度層を実現するための道路構造条件の分析（2016.12）……………	石川弘祐（道路マネジメント研究室）
平成28年度日本大学理工学部学術講演会／優秀発表賞／ モバイルマッピングシステムの走行速度と補正間隔についての検証（2016.12）……………	岡本直樹（空間情報研究室）
平成28年度日本大学理工学部学術講演会／優秀発表賞／ 搬送波位相測位におけるBeiDouとGPSの精度比較に関する研究（2016.12）……………	雪山大地（空間情報研究室）
（公社）土木学会第44回関東支部技術研究発表会／優秀発表者賞／ クルーズ客船観光の初回利用時に着目した認知・検討・利用の態度変容分析（2017.3）……………	井口賢人（運輸交通計画研究室）

教室の動き

教室関連の動きを報告します。

■ 卒業研究発表会

佐田達典、福田 敦、伊東英幸

平成28年度の卒業研究発表会が平成29年2月18日（土）に船橋校舎14号館にて開催されました。

本年度は、127件（発表者136名）の発表があり、会場には大学院生のほかに3年生、2年生、1年生、保護者など、200名程度の参加がありました。

1年間取り組んだ卒業研究の成果発表は1テーマあたり発表8分、質疑応答4分の合計12分で4つの会場により行われました。この短い時間の中で、自らが取り組んだ研究成果を発表することが求められるため、隔週で行われる卒業研究の授業では研究の進め方や発表方法などの詳細について授業が行われてきました。また、発表会の直前では各自が何回も発



卒業研究発表会

表練習を行います。

このような日々の積み重ねにより、自信を持って立派に自分の研究を発表できたようです。また今年度は英語で概要を執筆し、英語で発表した学生もみられました。

■ 修士論文審査会・博士論文公聴会

下川澄雄（大学院担任）

大学院博士前期課程の修士論文審査会が、平成28年2月22日（水）に船橋校舎1326教室で開催されました。発表件数は12件、発表および質疑応答時間はそれぞれ10分と限られた時間でしたが、活発な討議が行われました。審査会までの間、学生は7月と10月の中間審査会とともに、学会等での外部発表も積極的に行っており、内容的にもしっかりしたレベルの高い発表であったと思います。修士論文の合格者には3月25日（土）に修士（工学）の学位記が授与されました。

また、大学院博士後期課程に在学する1名の博士論文公聴会が平成28年1月6日（木）に駿河台校舎5号館523教室で開催されました。公聴会には多くの方が聴講者され、非常に高度な内容の討議が行われました。博士論文の合格者には、審



修士論文審査会

査を経て3月25日（土）に博士（工学）の学位記が授与されました。

審査会・公聴会で発表された修士生の目はとても明るく輝いていました。社会でもこの輝きを忘れず、眉をあげて一歩一歩進んでください。皆さんの活躍を期待しています。

修士論文および博士論文の一覧は本号8ページをご覧ください。

■ 事務室からのお知らせ

伊藤順子・熊田悦子・高梨美紀子（事務室）

新しいスタートが始まり、それを後押ししてくれるような心地のよい季節となりました。新入生は新生活への期待と緊張と複雑な心境でしょうか。また、在学学生は充実した学生生活を送れるよう頑張ってください。

さて、事務室では皆さんの学生生活のサポートを行っており、就職・進学・その他の資料も閲覧できるようになっています。また、公務員志望の方のために、参考書や問題集の貸し出しもしています。気軽に学科事務室に足を運んでください。

入り口は2カ所ありますが、向かって右側が学生専用出入口です。必ず交通システム工学科の赤いストラップを身につけて来てください。

事務室案内

事務取扱時間	月曜日～金曜日	9:30～13:00、14:00～16:00
場所	7号館2階7214室	

TOPICS 新任教員の紹介



鈴木 圭 教授

本年度より交通システム工学科に勤務することになりました鈴木圭です。

私は中央大学理工学部を1981年に卒業後、36年間、鹿島建設に勤務しました。とくに、プレストレスコンクリート構造物である橋梁の設計・施工に従事し、東西ドイツが統一する1989年には、ドイツに2年間留学しましたが、欧州では、美しい風景の中にたたく橋梁に感動し、その設計コンセプトを直接設計者から聞き、論文等を調べました。また、自然豊かなアウトバーンを体験しながら、その設計思想を学ぶことができました。

帰国後は、環境に調和した道路構造物を計画・設計したいと考え、土木構造物の景観デザインを担当しました。実現した構造物は、東京では、アキバブリッジ（超高強度コンクリート120N/m²）、代官山歩道橋（鋼橋）、JR恵比寿駅西口噴水公園、大阪では設計コンペに優勝した浮庭橋（鋼製吊り橋）、徳島県では池田へそっ湖大橋（最大スパン200mのコンクリートアーチ橋）等です。

その後、6年間は、(公財)原子力環境整備促進・資金管理センターに出向し、原子力発電所が停止した後、放射性廃棄

物を地中に安全に埋設管理する方法について、研究開発業務を担当し、研究者とエンジニアの総合的なコラボレーションの大切さを学びました。

交通システム工学科では構造デザイン研究室に所属します。これまでの経験を生かし、交通システムを構成する構造物のデザインを考えながら計画・設計・施工・管理まで一貫して関わることのできるエンジニアの育成に携われることに、大きな喜びを感じます。

日本は、阪神淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）、熊本大震災（2016年）を通じて、ますます災害に強い道路交通システムの重要性が認識されています。一方では、少ない人数と時間で効率的に構造物の実現に寄与するCIM（コンストラクション インフォメーション モデリング）技術の導入が、設計・施工・維持管理の分野に急速に取り入れられており、そのような国や国民のニーズをしっかりと把握し、それに答えられるエンジニアや研究者を育成したいと思っています。英語、ドイツ語、フランス語を活用して、歴史を含めた幅広い知識を得ることのできる技術者を目指して、教育に力を入れていきたいと思っています。どうぞ、よろしく願います。

平成28年度 就職状況

4年生担任 佐田達典、福田 敦、伊東英幸

平成28年度の学部の卒業予定者は137名（平成28年9月卒業1名を含む）、大学院の博士前期課程修了予定者は12名、合計149名に対し、就職を希望しない学生を除くと、100%の学生が進路を決定しました。

本年度の就職活動は、昨年に引き続き、就職活動が3月1日より開始となりましたが、6月には学部、大学院ともに内定率が約60%となりました。昨年度の6月は約24%の内定率でしたので、非常に早い時期から集中して内定が出

た結果となりました。

就職先の業種別では、建設業（建設コンサルタントを含む）が学部生では約31%、大学院生では約34%と大きな割合を占めており、例年と同じ傾向がみられました。学部生では次いで国家・地方公務員（東京都庁、各県庁、東京都23区などを含む）が24%、運輸業（主に鉄道会社）が17%となっており、今年度の傾向として公務員志望の学生が前年より多くなる傾向となりました。

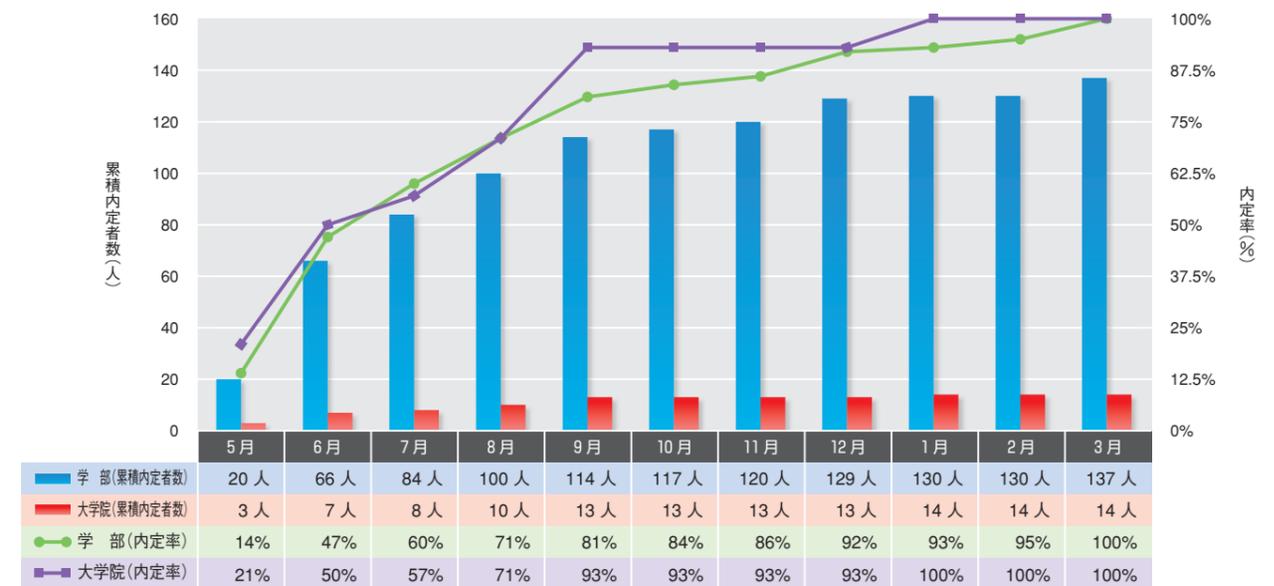


図-1 学部・大学院の内定者の推移

就職先業種別内定人数

内定先業種	大学院(人)	学部(人)
建設業	4	43
運輸業	3	24
国家公務員	0	5
地方公務員	3	28
大学院・進学・研究生	1	21
情報サービス	0	1
通信業	0	0
複合サービス業	0	4
一般機械器具製造業	0	4
学校教育	0	1
就職を希望しない	1	5
その他	0	1
合計	12	137

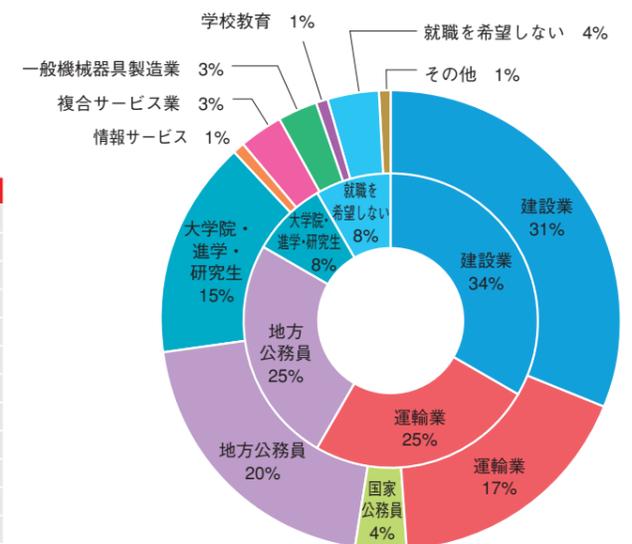


図-2 就職先業種別割合（内：大学院、外：学部）

森杉壽芳先生のご逝去について

福田 敦

森杉壽芳先生は、8年の長きにわたって当学科・専攻の教育・研究に携わられてこられました。平成28年5月18日に永眠されました。ここに、改めて先生のご冥福をお祈り申し上げますとともに、先生との思い出を紹介させていただきます。

先生は、東北大学を定年退職された1年後の平成20年4月から理工学研究所教授として本学に着任され、平成24年4月からは特任教授、平成25年4月からは客員教授として、学部では環境経済学、大学院では交通計画特論、プロジェクト評価を担当され、ご自身の専門である公共経済学、とくに費用便益分析に関して大変熱心に講義をされてきました。また、この間、Atit Tippichai さん、池下英典さんの博士論文をはじめ、修士論文、卒業研究の指導にも当たられ、研究面でも当学科に大きく貢献されました。

私自身が先生と親しくさせていただくようになったのはAITに赴任中で、後輩である本城先生を訪ねていらした時からです。この時、特別講義を行っていただき、お話しをされたのが、論文に書いたばかりだという便益帰着連関表（後の便益帰着構成表）の紹介でした。便益帰着構成表は、プロジェクトから発生する便益を主体と便益項目に分けて表現する方法で、海外では Morisugi's

Table と呼ばれており、公共経済学の分野では、世界的に認められている考え方です。

先生は、本学に着任されてからは、ほぼ週1回のペースで仙台から前期は船橋キャンパスへ、後期は駿河台キャンパスへ講義に来られ、講義の後も時間を忘れていろいろな課題の定式化を学生と熱心に議論されていました。亡くなられる前日の夜中にも、博士後期課程の東山君の研究に関するアドバイスをメールでいただきました。先生は、まだまだ解明したいと考えていた課題をたくさんお持ちであったと思いますし、我々もまだまだご指導をいただけたらと思うので、本当に残念ではありません。先生の熱い指導を受けた学生の中に、先生の遺伝子が少しでも引き継がれていることを願ってやみません。



大学院での講義風景

編集後記

本号の巻頭言は、2017年3月に退職された下辺悟先生にご執筆いただきました。下辺先生とは、5年5カ月の間、基礎力学研究室で一緒に仕事をさせていただきました。卒研生への熱心な教育・指導、講義を通して私自身とても多くのことを学ばせていただきました。話をしているうちに熱が入り、いつのまにか深夜だったなんてことも少なくありませんでしたが、それも懐かしい思い出です。長い間、本当にお疲れさまでした。（齊藤）

見知らぬ土地でもスマートフォンの地図アプリを使えば、現在地から目的地までどのようなルートで行けば良いのか、所要時間はどのくらいなのかなど、道に迷ったり遅刻したりする場面は従来よりも少なくなりつつあります。また、手でインターネットを常に利用できることから、お店の商品を検索しながら購入方法を考えるといったように、10年前からは想像もできないほど急速にネットワークサービスの利用が普及しました。交通分野においても、安全で円滑な道路交通を実現するためにはインターネットを介した通信技術の利用は不可欠です。急速に発展する技術に遅れないように、今後も学習・研究を進めていく必要があるといえます。（池田）